



港区基本計画

芝地区版計画書

MINATO CITY MASTER PLAN

SHIBA REGIONAL MASTER PLAN

令和3(2021)年度～令和8(2026)年度 令和5年度改定版

(素案)

Draft

区は、令和3(2021)年度から令和8(2026)年度を計画期間とする港区基本計画に基づいて取組を推進しています。このたび、令和5(2023)年度が中間年度に当たることから、計画策定以降の新型コロナウイルスの感染拡大をはじめとした社会経済情勢の影響や区民ニーズの変化等を踏まえて計画内容を見直し、港区基本計画・芝地区版計画書(改定版)の素案を作成しました。

本素案について、区民等の皆様からのご意見を伺いながら更に検討を重ね、令和6(2024)年1月末を目途に、港区基本計画を改定する予定です。

※計画に記載されている金額や指標値、取組等については、国や東京都の動向、令和6(2024)年度当初予算編成の進捗などを踏まえて修正する可能性があります。

令和5(2023)年10月

港区芝地区総合支所

アフターコロナの新時代に向けて、 区民とともにまちを元気にする

区民に最も身近な行政である各地区総合支所は、区民、企業、大学、NPO、大使館など多様な主体と一丸となって、地域の課題解決や魅力向上に取り組んできました。

本地区版計画書は、地域が将来に向かってさらに発展していくための目標や取組を明らかにするものです。改定に当たっては、各地域の特性や区を取り巻く状況の変化を踏まえながら、区民意識調査や区民参画組織からの提言を通じて、地域の皆さんとともに課題解決の方策などの検討を進めてきました。

令和5(2023)年5月、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類へ移行したことにより、法律に基づく患者への外出自粛要請がなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられました。コロナ禍の収束が近づき、町会・自治会等の地域活動やお祭りなどの地域コミュニティ活動は以前の形に戻ってきており、人々のふれあいや交流の機会が増えています。

一方で、区内の核家族世帯の割合は9割を超え、子育て世帯、高齢者世帯の社会的孤立を防ぐことが急務となっています。各地区では、地域の特性に応じて、子どもから高齢者まで地域の人同士がつながりを持ち続けられる施策を展開し、次代を担う子どもを地域全体で育み、地域の中で高齢者を見守る環境づくりを一層推進します。

アフターコロナの社会に向けて、大きく変化している社会経済情勢に的確に対応し、区政を着実に推進していくために、区民とともにコロナ禍後の港区の姿を思い描きながら各地区の地区版計画書の改定を行い、明るい未来への道筋を示しました。

各地区総合支所は、改定を経た本計画書を区政の新たな道しるべとし、区民の健康と安全を守ることを最優先に、子どもが社会の一員として地域の人々に大切に育まれるまち、子どもから若者、子育て世代、高齢者までのあらゆる世代が住み続けられるまちを目指し、区民とともに描いたまちの姿を実現していきます。



港区長

武井 雅昭

アフターコロナの新時代に向けて、 区民とともにまちを元気にする

めざすまちの姿

人と地域がつながり心躍る未来をつくるまち「芝」

港区基本計画・芝地区版計画書では、区民意識調査の結果や区民参画組織からの提言を踏まえ、本計画書の到達点を「めざすまちの姿」として設定しました。

芝地区総合支所は、様々な立場、年代の人が交流する機会や場を創出し、地域に関わる全ての人が力を合わせて心躍る芝地区の未来を築いていくことをめざします。

ともにつくる安全・安心・快適で美しいまち



芝地区に関わる多様な主体が一体となって、防犯・防災や地域の環境美化など、地域の課題の解決に取り組み、安全・安心・快適で美しいまちが実現しています。

多様なコミュニティが息づくまち



多様な世代・立場の人たちが交流することができる機会や場が充実し、活気あるコミュニティが育まれているまちが実現しています。芝地区の持つ歴史的・文化的資源、観光資源や新たに発掘される魅力が内外に発信されることで、にぎわいが生まれ、誰もが愛着と誇りを持つことのできるまちが実現しています。

地域の支え合いで健やかにいきいきと暮らせるまち



子どもたちの健やかな育ちを見守り、高齢者が安心していきいきと暮らし続けることができる、多様な世代のつながりと支え合いが育まれているまちが実現しています。

目 次

第1章 総論	9
1 港区基本計画の目的と性格	10
2 計画改定の背景と基本姿勢	11
3 地区版計画書改定の基本的考え方	12
(1) 「参画と協働」による計画の推進	12
(2) 誰もが快適にいきいきと暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けた取組の推進 ..	12
(3) 地区を取り巻く環境変化への対応	12
(4) 自然災害等の様々な脅威への対策	12
(5) アフターコロナの新時代に向けた取組の推進	12
4 計画の構成	13
5 計画の期間	13
6 計画における「地域事業」の予算	14
7 地区版計画書とSDGs	15
8 芝地区版計画書の体系	16
第2章 芝地区の特性	19
1 地理的特徴	20
(1) 位置と面積	20
(2) 地形的特色	20
(3) 交通	21
(4) 歴史・文化的特色	22
2 施設等位置図	24
(1) 主な公共施設	24
(2) 公園等	25
(3) 避難所・避難場所	26
3 人口想定	27

第3章 芝地区版計画書の内容	29
地区版計画書の見方	30
I かがやくまち	32
1 ともにつくる安全・安心・快適で美しいまち「芝」	32
(1) 地域が一体となり魅力ある美しいまちをつくる	34
(2) 災害に強く安全で安心できるまちをつくる	38
(3) 環境にやさしいまちをつくる	40
II にぎわうまち	52
1 多様なコミュニティが息づくまち「芝」	52
(1) 多様な主体の交流を促進してコミュニティが広がるまちをつくる	54
(2) 地域の魅力を発掘・発信してにぎわいあふれるまちをつくる	58
III はぐくむまち	64
1 地域の支え合いで健やかにいきいきと暮らせるまち「芝」	64
(1) 子どもがのびのびと健やかに育つまちをつくる	66
(2) いつまでもいきいきと健康的に暮らすことのできるまちをつくる	68
IV 実現をめざして	76
参考資料	79
1 芝地区版計画書 改定経過	80
2 港区基本計画・芝地区版計画書改定に向けた提言	82
3 関連計画等一覧	94

1

第 章

總論

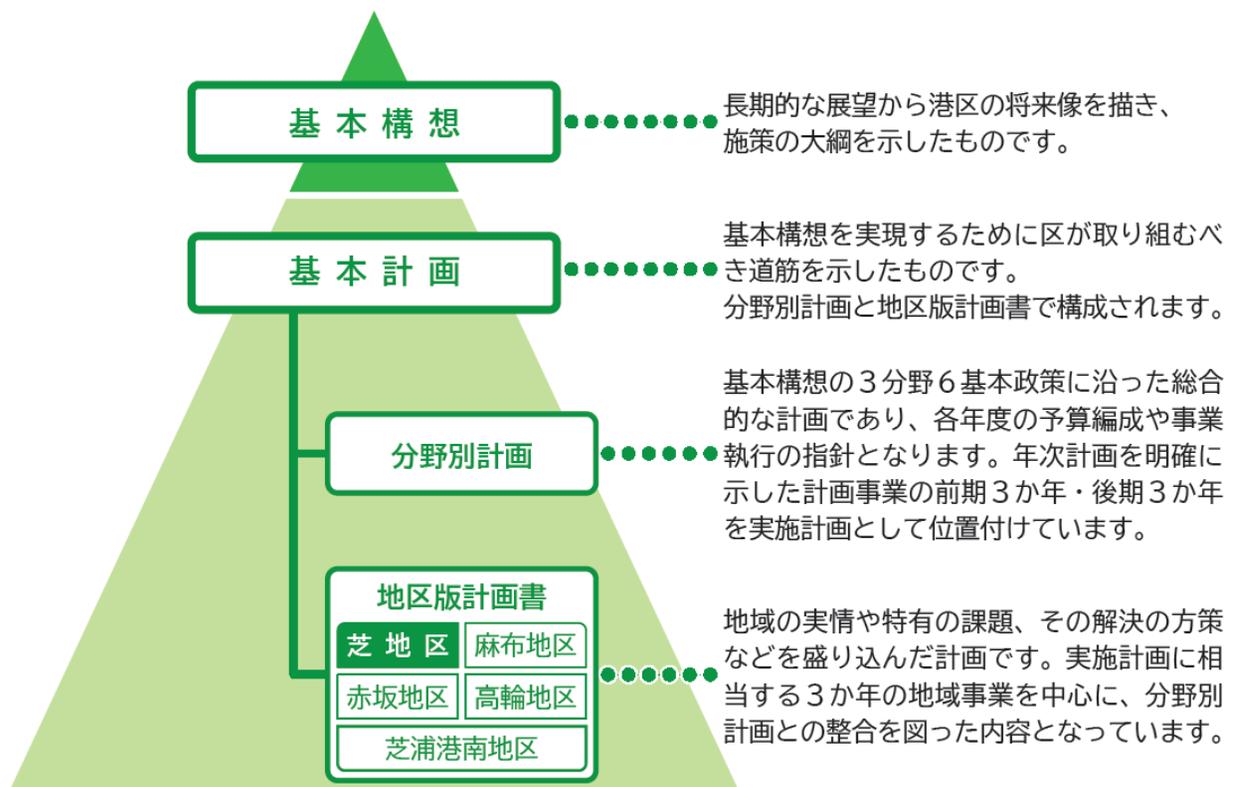
1 港区基本計画の目的と性格

港区基本計画は、区がめざすまちの姿とそこに至る道筋を明らかにし、目標や課題、施策の概要を体系的に示すことを目的としています。

基本計画は、区政のあらゆる分野で計画的に行財政運営を推進する際の指針となる最上位計画で、基本構想の3分野6基本政策に沿った、総合的な計画である「分野別計画」と、総合支所ごとに策定した「地区版計画書」で構成されています。

「地区版計画書」は、地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより高めるため、各総合支所が区民参画組織からの提言を踏まえて、複数年間（令和3（2021）年度からの6か年の後期3か年に該当する、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度まで）の計画を立案した、独自に取り組む事業（以下「地域事業」といいます。）を中心とする計画書です。

総合支所は、この地区版計画書を区民と共有しつつ、あらゆる主体と協働してまちづくりを進めていくための基本的な方向を示すものとして活用します。



2 計画改定の背景と基本姿勢

港区には、「芝」「麻布」「赤坂」「高輪」「芝浦港南」という5つの特色ある魅力的な地区が存在しています。

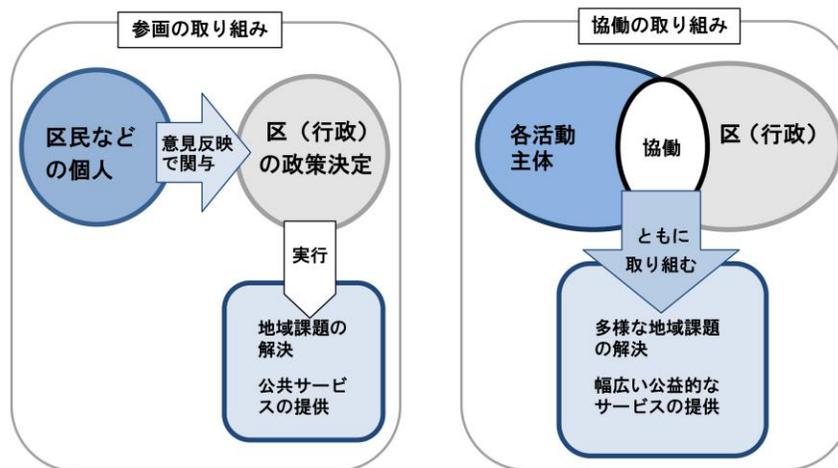
これら5つの地区の魅力と特性を生かすとともに、地域の課題を地域で解決し、区民がより身近な場所で様々な行政サービスを受けられることを目的として、平成18(2006)年4月に「区役所・支所改革」を実施し、それまでの「麻布」「赤坂」「高輪」「芝浦港南」の4つの支所は、「芝」を加えた5つの総合支所に生まれ変わりました。

「区役所・支所改革」の開始から17年の間に、各総合支所では区民協働により、各地区の課題解決や地域の魅力を高める取組などを行ってきました。

また、総合支所の権限強化や執行体制の充実、支援部等との連携を強化し、総合支所制度を充実することで地域と区との距離が近づき、相互の信頼関係が深まるなど「区役所・支所改革」は確実な成果を挙げています。

今回の計画改定では、現計画における各施策の成果やこれからの課題を検証し、区を取り巻く様々な状況変化に柔軟かつ的確に対応していくとともに、引き続き「参画と協働」により築いてきた区民や地域との強固な信頼関係を生かし、区が有する様々な地域資源や民間活力なども効果的に活用しながら、将来を見据えた港区ならではの政策実現に向けて着実に取り組んでいきます。

参画と協働



※出典：「港区区民協働ガイドライン」(平成26(2014)年3月)

3 地区版計画書改定の基本的考え方

(1) 「参画と協働」による計画の推進

地区版計画書の改定に当たっては、計画の前期の成果や今後の方向性について、芝地区の区民参画組織である「芝会議」の中に設置した「地区版計画推進部会」からいただいた提言の反映に最大限努めました。

地区版計画書に計上した事業の実施に当たり、「参画と協働」による取組を一層推進し、地域の課題解決と魅力の向上を図ります。

(2) 誰もが快適にいきいきと暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けた取組の推進

子ども、高齢者、障害者、外国人、性的マイノリティなど、全ての人々がともに支え合いながら、自分らしくいきいきと活動し、快適に暮らすことができる地域共生社会を実現するための取組を推進します。特に、次代を担う「子ども」を地域全体で育むまちづくりを一層推進します。

(3) 地区を取り巻く環境変化への対応

芝地区では、令和5(2023)年7月に東京メトロ日比谷線虎ノ門ヒルズ駅の拡張工事が完成し、まちと一体となった新たな駅が誕生した虎ノ門エリアや、大型施設の開業が相次ぎ、浜松町駅から竹芝ふ頭をつなぐペDESTリアンデッキが整備された竹芝エリアなど、新しいまちづくりが進んでいます。これらの地域の動きを的確に捉えるとともに、環境変化に伴う地域への影響を踏まえ、地域の魅力や暮らしの向上につながる事業を展開していきます。

(4) 自然災害等の様々な脅威への対策

大規模地震、水害や新たな感染症の脅威などの危機から安全・安心な暮らしを守るため、区民や企業等と行政が連携し、地域が一体となって備えます。さらに、災害発生時には円滑に対処できるよう、各関係機関との連携・協力を推進します。

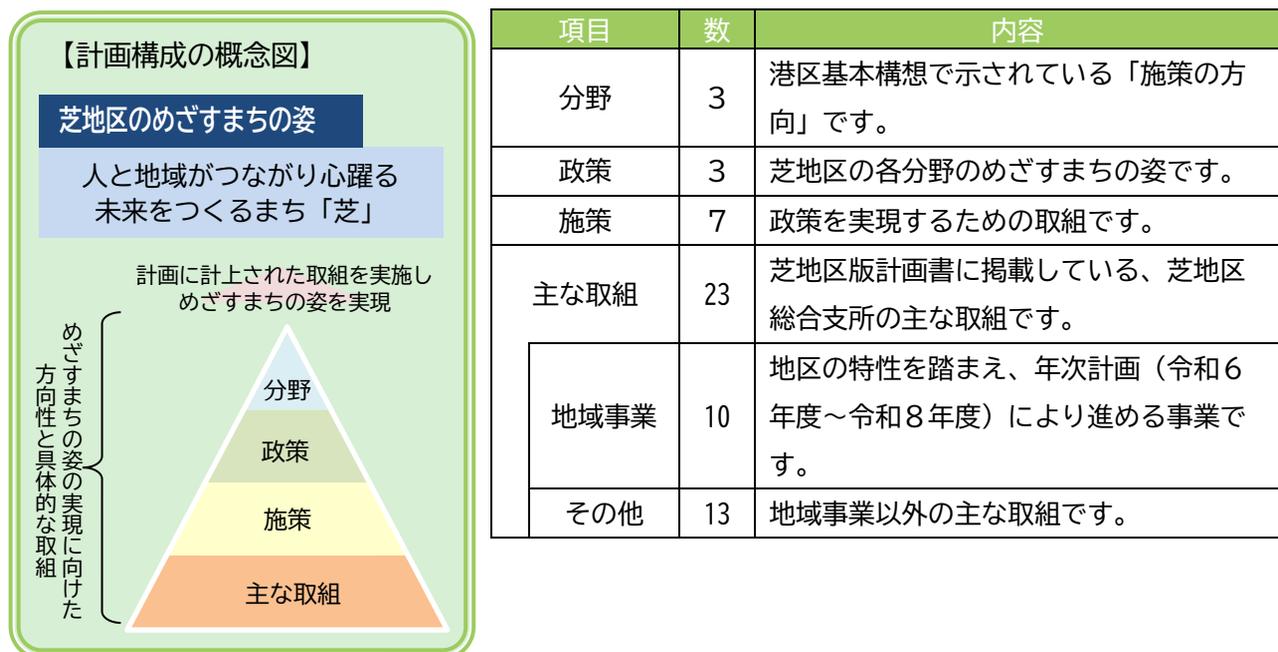
(5) アフターコロナの新時代に向けた取組の推進

新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けた地域コミュニティの活性化や多様化する区民生活の支援など、予想される行政需要に的確に対応する必要があります。

優先的・積極的に取り組むべき課題に対し、限られた財源を配分し、子どもから高齢者まで誰もが安心して住み続けられる環境づくりを推進します。

4 計画の構成

芝地区版計画書は、現在の芝地区が置かれている現状や特性を踏まえた上で、芝地区のめざすまちの姿である“人と地域がつながり心躍る未来をつくるまち「芝」”の実現に向けた、6年間（令和3（2021）年度～令和8（2026）年度）の方向性と前期3か年（令和3（2021）年度～令和5（2023）年度）及び後期3か年（令和6（2024）年度～令和8（2026）年度）の具体的な取組を体系的に示しています。



計画の推進に際しては、地区の特性や豊富な地域資源を活用しながら、課題の解決や地域の魅力の向上を図るため、芝地区に住み、働き、学ぶ人々との協働により、芝地区のめざすまちの姿の実現に取り組んでいきます。

5 計画の期間

芝地区版計画書は、令和3（2021）年度から令和8（2026）年度までの6か年計画です。

新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う社会経済の停滞、コミュニティ活動の停滞など、計画策定以降の変わりゆく社会動向に的確に対応していくために、中間年度である令和5（2023）年度に計画を改定しました。

本計画は、計画期間の後期に当たる令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3か年の取組を示しています。

6 計画における「地域事業」の予算

「地域事業」は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3か年について、総合支所ごとに配分された予算枠の中で実施します。

事業実施に係る予算は通常、事業ごとに単年度の予算額を定めています。これに対し、予算枠配分方式は、各総合支所の裁量を拡大し、地域特性や地域の課題を踏まえた「地域事業」を、配分された予算枠の中で年次計画を立てながら独自に創出できるようになっています。

[単位：千円]

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業費	37,484	37,484	37,484	112,452

No.	地域事業名	掲載頁
1	芝地区防災力向上プロジェクト	39
2	エコ芝 教室	41
3	ご近所イノベーション学校 ～芝に幸せをよぶ人づくり～	55
4	地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト	55
5	芝 BeeBee's プロジェクト	56
6	多様性を学ぶまち ～SHIBA～	59
7	芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ「芝」～	59
8	竹芝プロジェクト ～ともにつながる未来へ～	60
9	トレジャー☆スクール ～芝体験学習～	67
10	地域で支え合う ～アロマネットワーク～	69

7 地区版計画書とSDGs

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、国や地方自治体、企業、教育・研究機関、NPOなど、様々な主体により積極的な取組が展開されています。本計画書の政策の方向性とSDGsの各目標は重なるものが多いことから、政策や施策との関連を明らかにし、SDGsの目標の達成期限（2030年）まで10年を切っていることを踏まえて、各施策を推進していきます。

各政策と関連するSDGsのゴール

【かがやくまち】 ともにつくる安全・安心・快適で 美しいまち「芝」	      
【にぎわうまち】 多様なコミュニティが息づくまち「芝」	    
【はぐくむまち】 地域の支え合いで健やかにいきいきと 暮らせるまち「芝」	    

【参考】SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された令和12(2030)年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っており、普遍的なものとして全ての国で取組が進められています。

 目標1 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	 目標13 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
 目標2 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	 目標8 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する	 目標14 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
 目標3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	 目標15 陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
 目標4 質の高い教育をみんなに すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	 目標10 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する	 目標16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和と包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
 目標5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	 目標11 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする	 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
 目標6 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	 目標12 つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する	



8 芝地区版計画書の体系

めざすまちの姿 分野 政策 施策

人と地域がつながり心躍る未来をつくるまち「芝」

I かがやくまち

街づくり・環境

1 ともにつくる安全・安心・快適で美しいまち「芝」

(1) 地域が一体となり魅力ある美しいまちをつくる

(2) 災害に強く安全で安心できるまちをつくる

(3) 環境にやさしいまちをつくる

II にぎわうまち

コミュニティ・産業

1 多様なコミュニティが息づくまち「芝」

(1) 多様な主体の交流を促進してコミュニティが広がるまちをつくる

(2) 地域の魅力を発掘・発信してにぎわいあふれるまちをつくる

III はぐくむまち

福祉・保健・教育

1 地域の支え合いで健やかにいきいきと暮らせるまち「芝」

(1) 子どもがのびのびと健やかに育つまちをつくる

(2) いつまでもいきいきと健康的に暮らすことのできるまちをつくる

主な取組

 は芝地区の地域事業

① 地域のまちづくり活動への支援

② 安全で人にやさしい公共空間の整備

③ 地域の環境美化活動の推進

① 芝地区防災力向上プロジェクト 

② 地域の安全・安心を守る取組の推進

① エコ芝 教室 

② 緑の保全と緑化の推進

① ご近所イノベーション学校 ～芝に幸せをよぶ人づくり～ 

② 地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト 

③ 芝 BeeBee'sプロジェクト 

④ 地域コミュニティ活動の支援・多様な交流の促進

⑤ 全国の自治体との連携

① 多様性を学ぶまち ～SHIBA～ 

② 芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ「芝」～ 

③ 竹芝プロジェクト ～ともにつながる未来へ～ 

④ 地域情報の発信・共有

① トレジャー☆スクール ～芝体験学習～ 

② 子育て支援施設等の充実

① 地域で支え合う ～アロマネットワーク～ 

② 高齢者が自分らしくいきいきと暮らせるための支援の充実

IV
実現をめざして

- ① 参画と協働の推進
- ② 効果的な情報発信
- ③ アフターコロナに向けた事業運営

第 2 章

芝地区の特性

第2章

芝地区の特性

1 地理的特徴

(1) 位置と面積

芝地区は、港区の北東に位置し、北は赤坂地区・千代田区に、西は麻布地区・高輪地区に、南は芝浦港南地区に、東は中央区及び東京湾に接しています。

芝地区の面積は 4.45 km²で、区全体の面積 20.36 km²の約 21.8%を占めています。区の中では、芝浦港南地区に次いで2番目に広い地区です。



(2) 地形的特色

芝地区は東側に東京湾に面した沖積低地・埋立地、西側に武蔵野台地に連なる飯倉台地・三田段丘と呼ばれている台地群からなり、台地と低地の境には数多くの坂があります。また、自然の山では23区最高峰となる愛宕山（標高 25.7m）がある一方、区内で最も標高が低い地点となっている浜松町駅前ガード付近（海拔 0.08m）も芝地区内に位置しています。

河川については、古川が西から北に流れ、三田一丁目付近で流路を東に変え、東京湾に流れ込んでいます。



愛宕神社参道



「東都名所尽 愛宕山遠望図」(天保期)

港区立郷土歴史館

(3) 交通

芝地区では、西側から順に、桜田通り、愛宕下通り、日比谷通り、第一京浜、海岸通りなどの幹線道路が南北の軸を形成しています。東西には首都高速道路が通っており、平成26(2014)年には、新橋から虎ノ門にかけて環状第二号線(新虎通り)の供用が開始されました。

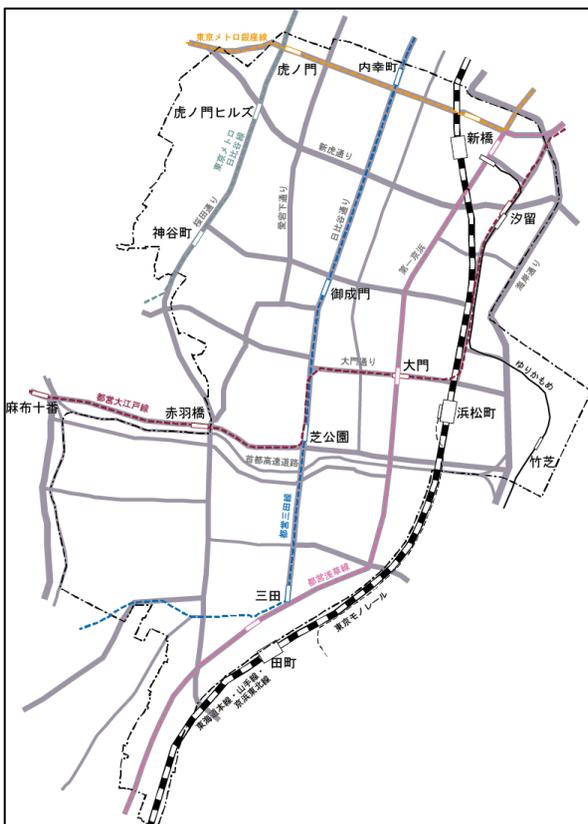
鉄道網は、JR各線(新橋駅・浜松町駅・田町駅)、東京メトロ銀座線(虎ノ門駅・新橋駅)、東京メトロ日比谷線(虎ノ門ヒルズ駅・神谷町駅)、都営浅草線(新橋駅・大門駅・三田駅)、都営三田線(内幸町駅・御成門駅・芝公園駅・三田駅)、都営大江戸線(汐留駅・大門駅)、東京モノレール(浜松町駅)、ゆりかもめ(新橋駅・汐留駅・竹芝駅)があります。

また、地下鉄網を補う形でバスが運行されており、都営バスが桜田通り、第一京浜、竹芝通りを、東急バスが愛宕下通りを走っています。区のコミュニティバス「ちいばす」のうち、「芝ルート」が新橋駅から御成門駅、港区役所、芝公園駅などを經由して田町駅まで結んでいるほか、「田町ルート」、「麻布東ルート」、「高輪ルート」が芝地区内を運行しています。

さらに、令和5(2023)年4月に虎ノ門ヒルズ・新橋と臨海地域(勝どき・晴海・豊洲)をつなぐ新しい交通機関である東京BRTがプレ運行(二次)を開始しました。

東京湾に面する竹芝ふ頭には、伊豆諸島、小笠原諸島との定期航路と東京湾クルーズの旅客船ターミナルが整備されています。

■交通状況図



東京BRT



竹芝客船ターミナル

(4) 歴史・文化的特色

芝地区は都内最大規模の丸山古墳があるなど、はるか昔から人々の生活が営まれてきた場所です。

江戸幕府が開かれると、江戸城に近い芝地区には、多くの大名屋敷や旗本屋敷が建てられ、徳川家の菩提寺である増上寺も現在の地に移転しました。幕末には西郷隆盛と勝海舟が現在の芝四丁目にあった島津家蔵屋敷で話し合い、江戸城無血開城と明治維新の幕開けをもたらした、歴史上重要な地となっていくます。

一方、海岸沿いには魚河岸が、東海道に沿って町人地ができていくなど庶民の暮らしの場も整っていきます。落語「芝浜」や、「火事と喧嘩は江戸の華」で有名な「め組の喧嘩」の舞台になった江戸期の町民文化が花開いた場所でもあり、今でも、芝大神宮「だらだら祭り」をはじめ、江戸一の展望台であった愛宕神社や大久保家上屋敷であった旧芝離宮恩賜庭園などに、歴史や伝統文化の息づきが感じられます。

明治時代に入ってから、日本最初の公立小学校（靱絵小学校）の開校や、明治5(1872)年には新橋－横浜間の鉄道が開業するなど、日本の“初めて”の舞台になっています。明治11(1878)年には今の芝地区、高輪地区、芝浦港南地区の一部からなる芝区が成立し、地方自治の第一歩を踏み出しました。第二次世界大戦時の空襲により多くの被害を受けましたが、戦後着実に復興が進み、昭和22(1947)年3月15日には、芝区、麻布区、赤坂区の3区が合併して現在の港区が誕生しました。

昭和33(1958)年には、今なお芝地区のランドマークとして親しまれる東京タワーが完成しました。都心に位置し交通至便であることから芝地区は開発が進み、新橋・虎ノ門周辺はオフィス街を中心とした街並みとして発展しています。また、住居と店舗が一体となった建物が混在する下町的な市街地も形成されており、古くからの義理人情あるまちと新しいまちが混在する地域としての魅力を有しています。



「鉄道開業新橋夜景図」港区立郷土歴史館



虎ノ門ヒルズ駅（B2出口周辺）

2 施設等位置図

(1) 主な公共施設

芝地区の公共施設には、港区役所・芝地区総合支所、みなと保健所、港区立産業振興センター、きらきらプラザ新橋等があります。教育・スポーツ関係では、中学校1校、小学校3校、幼稚園1園、図書館2館、生涯学習センター、芝公園多目的運動場、御成門中学校屋内プール等が整備されています。福祉関係では、障害保健福祉センター、保育園3園、子育て関連施設として子ども中高生プラザが、高齢者向け施設としていきいきプラザ3館が立地しています。

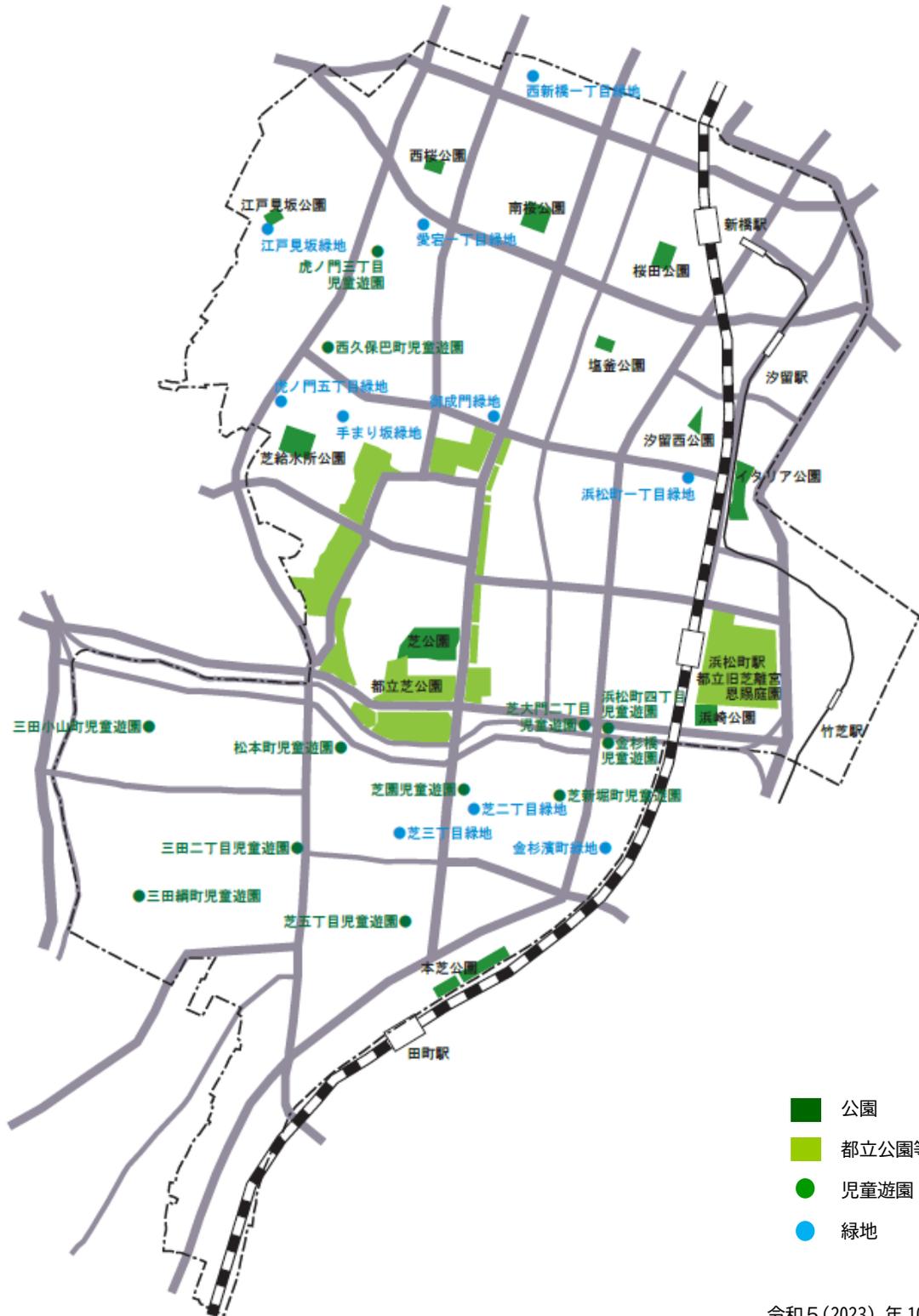
■芝地区の主な公共施設



(2) 公園等

公園等は、区立公園 11 か所、児童遊園 12 か所、緑地 10 か所が整備されています。また、都立公園として、都立芝公園、旧芝離宮恩賜庭園があります。

■芝地区の公園・緑地



令和5(2023)年10月現在
出典：港区公共施設案内図「ぐるっとみなの」2023-2024

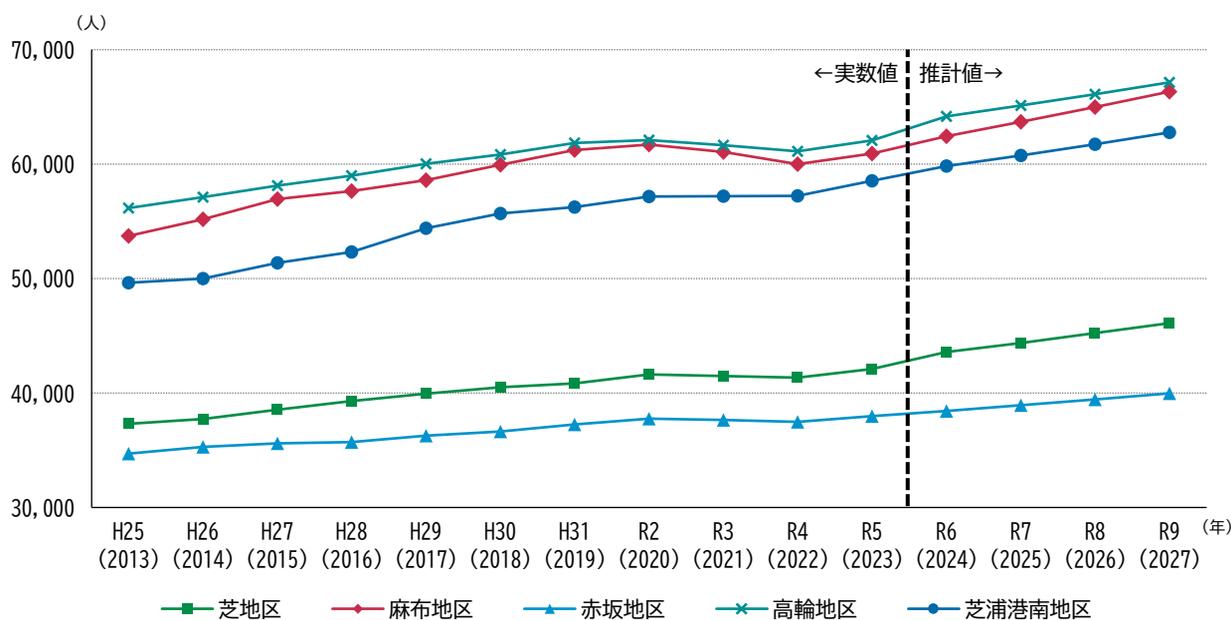
3 人口想定

港区の人口（住民基本台帳人口）は、令和2（2020）年6月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因すると思われる減少傾向となっていました。令和4（2022）年2月からは再び増加傾向となり、令和5（2023）年1月1日には261,615人に達しました。10年前の平成25（2013）年に比べ13.0%増加しています。今後も増加傾向が継続すると見込まれ、令和9（2027）年1月1日には282,317人になると予想されています。

また、地区別の将来人口は、区全体と同様に、令和5（2023）年以降、増加傾向が継続すると見込んでおり、令和9（2027）年には、高輪地区が67,124人で最も多く、次に麻布地区が66,325人、芝浦港南地区が62,766人、芝地区が46,119人、赤坂地区が39,983人となる見込みです。

芝地区の人口は、令和5（2023）年1月1日現在42,120人ですが、令和9（2027）年1月1日には、46,119人となり、現在の人口よりも約9.5%増えると予想されています。

■各地区の人口の推移



出典：港区人口推計結果（各年1月1日現在）

※外国人を含んだ数値となっています。

■人口の予測

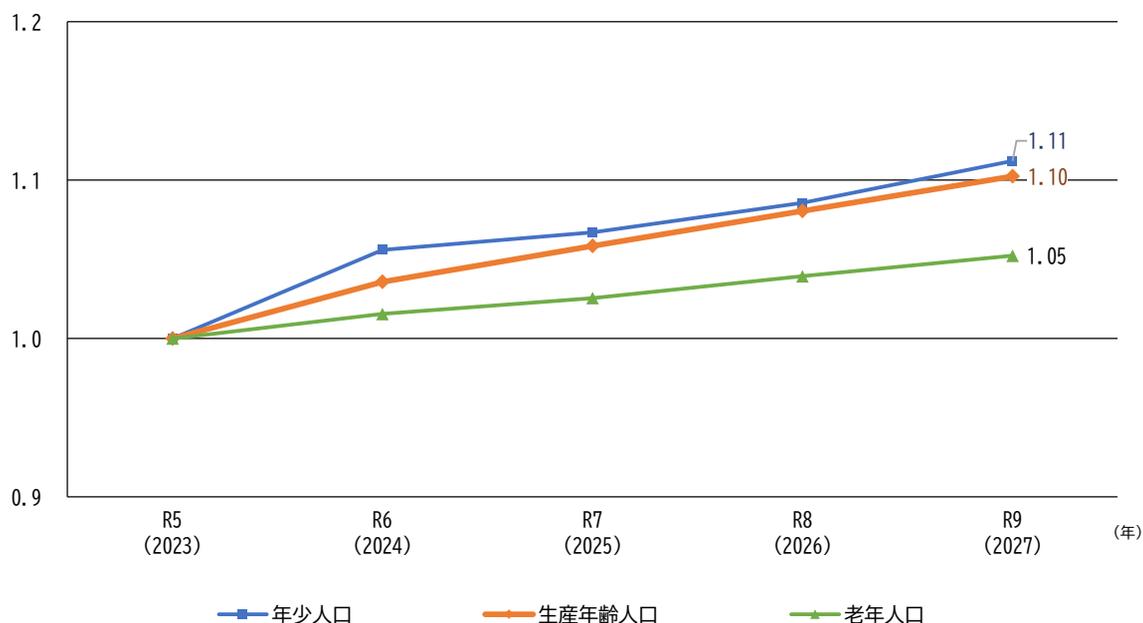
()内は、各総数に対する構成比を示します。

		令和5年1月1日		令和6年1月1日(推計)		令和9年1月1日(推計)	
		実数	構成比	想定	構成比	想定	構成比
港区	総人口	261,615人	(100.0%)	268,444	(100.0%)	282,317人	(100.0%)
地区別人口	芝地区	42,120人	(16.1%)	43,578	(16.2%)	46,119人	(16.3%)
	麻布地区	60,906人	(23.3%)	62,438	(23.3%)	66,325人	(23.5%)
	赤坂地区	37,993人	(14.5%)	38,445	(14.3%)	39,983人	(14.2%)
	高輪地区	62,061人	(23.7%)	64,162	(23.9%)	67,124人	(23.8%)
	芝浦港南地区	58,535人	(22.4%)	59,820	(22.3%)	62,766人	(22.2%)

出典：港区人口推計結果（各年1月1日現在）

※推計値及び構成比は単位未満を四捨五入し、端数処理をしていないため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります。

■芝地区の年齢3区分別人口の推移（令和5（2023）年1月1日現在の人口を1とした値）



出典：港区人口推計結果（各年1月1日現在）

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）

■年齢3区分別人口の予測（芝地区・港区）

（ ）内は、各総数に対する構成比を示します。

		令和5年1月1日	令和6年1月1日（推計）	令和9年1月1日（推計）
芝地区	総数	42,120人 (100.0%)	43,578人 (100.0%)	46,119人 (100.0%)
	年少人口	4,656人 (11.1%)	4,917人 (11.3%)	5,178人 (11.2%)
	生産年齢人口	30,223人 (71.8%)	31,306人 (71.8%)	33,321人 (72.3%)
	老年人口	7,241人 (17.2%)	7,354人 (16.9%)	7,620人 (16.5%)
港区	総数	261,615人 (100.0%)	268,444人 (100.0%)	282,317人 (100.0%)
	年少人口	35,629人 (13.6%)	36,336人 (13.5%)	37,753人 (13.4%)
	生産年齢人口	181,346人 (69.3%)	186,598人 (69.5%)	196,345人 (69.5%)
	老年人口	44,640人 (17.1%)	45,510人 (17.0%)	48,220人 (17.1%)

出典：港区人口推計結果（各年1月1日現在）

※推計値及び構成比は単位未満を四捨五入し、端数処理をしていないため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります。

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）

第 3 章

芝地区版計画書の内容

第3章

芝地区版計画書の内容

地区版計画書の見方

●政策のページの見方

分野

3つの分野（かがやくまち、にぎわうまち、はぐくむまち）のどれに該当するかを示します。

政策

芝地区のめざす方向性を示します。

改定のポイント

令和5（2023）年度改定で変更した点を記載しています。

施策

政策を実現するための具体的な取組を示します。

政策

I かがやくまち

1 とまじこめる安全・安心・快適で美しいまち「芝」

政策のめざす方向性
芝地区は、夜間人口の約10倍の昼間人口を抱え、いつも多くの人々が行き交っているまちです。まちに関わるすべての人が互いに協力し合い、大地震や台風などの自然災害や、都市型犯罪等の様々な危機に対する安全・安心に向けた取組を推進するとともに、うるおいややすさのある快適な生活空間が実感できるまちをつくります。

改定のポイント
地域団体、事業者、関係機関など、多様な主体がより強固につながり、災害時や日常における地域の安全・安心を確保するための取組を進めます。
また、芝地区の環境に係る様々な事業や取組を連携させ、地域に密着した活動を進めることで、芝地区のエコ意識を高めます。

成果指標

成果指標名	区分	前期の成果		計画目標値	
		当初 令和元 (2019)年度	中間 令和4 (2022)年度	中間 状況 令和7 (2025)年度	最終 令和8 (2026)年度末
政策 1 芝地区が「みよいと 考えている区民の割合」	目標	—	84%	未達成	88%
	実績	79%	82%	達成	90%
政策 1 「地域の防災」が課題と 考えている区民の割合」	目標	—	69%	達成	65%
	実績	74%	69%	達成	64%
政策 1 「まちの環境美化」が課題 と 考えている区民の 割合」	目標	—	58%	達成	54%
	実績	62%	55%	達成	53%

出典：港区基本計画・芝地区版計画書に関する区民意識調査（令和5（2023）年1月）
※令和4（2022）年度時点の実績を記載し、計画目標値を上方修正しました。

芝地区の現状

昼間人口
多数の事業者が立地し、昼間人口が夜間人口の約10倍にのぼる芝地区では、地区に暮らし、働き、学ぶ全ての人々が協力し合える関係を構築できるような支援をすることが必要です。

地区	昼間人口（人）	夜間人口（民数）
港区	972,673	41,049
芝地区	386,758	17,292
麻布地区	121,516	6,563
赤坂地区	180,275	10,214
高輪地区	89,862	3,424
芝浦港南地区	194,260	3,556

出典：令和2年度調査、令和3年経済センサス活動調査
※数字の単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

環境美化
昼間人口が多い芝地区では、受動喫煙対策や違法露店看板の撤去など、町会・自治会、事業者、行政機関等、地域に関わる多様な主体が一体となって地域の環境美化に取り組んでいます。



芝地区クリーンキャンペーン

政策体系

政策 1 とまじこめる安全・安心・快適で美しいまち「芝」

施策 (1) 地域が一体となり魅力ある美しいまちをつくる

主な取組 ①地域のまちづくり活動への支援
②安全で人にやさしい公共空間の整備
③地域の環境美化活動の推進

施策 (2) 災害に強く安全で安心できるまちをつくる

主な取組 ①芝地区防災力向上プロジェクト
②地域の安全・安心を守る取組の推進

施策 (3) 環境にやさしいまちをつくる

主な取組 ①エコ芝教室
②緑の保全と緑化の推進

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。
事業名の隣に（芝次郎）が付いているものが地域事業です。

芝地区ならではの先進性・独自性
「芝地区防災力向上プロジェクト」では、事業者が高度に集積するという芝地区の独自性を踏まえて、セミナーでは事業者と町会・自治会との連携の必要性、重要性を認識理解する内容にするなど、地域における協力関係の構築を支援し、芝地区の自助・共助による防災力向上を推進します。
また、「エコ芝教室」では様々な事業者や町会・自治会等の地域団体が参加する芝地区クリーンキャンペーンと連携し、独自に作成した啓発品の配布活動を展開するなど、既存の芝地区独自事業との発展的連携により、芝地区の子どもから高齢者まで、誰でも簡単に始められる脱プラスチック生活の学習をとおして、芝地区のエコ意識を高めます。

SDGsのゴールとの関係



主な取組

成果指標

区民意識調査などに基づく区民の満足度を指標として設定しています。

SDGsのゴールとの関係

関連するSDGsのゴールを一覧で表示しています。

芝地区ならではの先進性・独自性
芝地区の特長的な取組のポイントを示しています。

● 施策のページの見方

SDGsのゴールとの関係
関連するSDGsのゴールを一覧で表示しています。

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に (芝次郎) が付いているものが地域事業です。

1 施策 (2) 災害に強く安全で安心できるまちをつくる

目標・期待する成果
区、区民、事業者がそれぞれの役割を果たした災害対策を推進します。また、地域が一体となって防犯意識を高め、犯罪が起こりにくい環境を整えることで、安全で安心できるまちをつくりまします。

成果指標

成果指標名	区分	前期の成果		達成状況	計画目標値 令和8 (2026)年度末
		令和2 (2020)年度	中間(見込) 令和5 (2023)年度		
B C Pの策定や見直しに着手した事業者数 [※] (延べ数)	目標	—	270 社	未達	230 社
	実績	31 社	100 社	成	

※「芝地区防災力向上プロジェクト」における「事業者向け防災セミナー」の受講者に対する連続調査の回答を集計し、令和5(2023)年度実績(見込)を踏まえ、計画目標値を下方修正しました。

現状と課題

- 「自助」「共助」「公助」の防災の基本理念に基づき、区、区民、事業者それぞれが役割と責任を果たし、効果的な災害対策を推進しています。昼間人口の多い芝地区では、特に事業者が果たす役割を様々な機会を通じて啓発していくことが必要です。
- 芝地区は、町会・自治会で組織される7つの地域防災協議会が活動しており、自助・共助による災害対策の強化を目的とし、防災訓練を実施しています。
- 芝地区では、駅周辺の事業者等で構成される4つの駅周辺滞留者対策推進協議会(虎ノ門、新橋、浜松町、田町)が活動しており、災害時に予測される帰宅困難者による混乱抑制のため、滞留者の受入施設の確保や、避難者を誘導する訓練等に取り組んでいます。また、令和4年度は発災後に協議会メンバーが円滑に本部を開設できるよう、新橋、浜松町、田町駅の3つの駅周辺滞留者対策推進協議会においてVR動画を作成しました。
- 芝地区では、過去に台風や集中豪雨による浸水被害が発生しています。現在は、古川の氾濫を防ぐ地下調節池が整備されるなど、浸水対策が強化されていますが、水害に対する日頃の備えや、浸水からの避難に関する正しい知識について、より多くの区民に普及・啓発を進めることが必要です。
- 芝地区には、土砂災害警戒区域に指定されている場所があり、気象警報発令時等は区から注意喚起を行っています。多くの区民、来街者等へ情報をすみやかに伝達するため、防災情報メール、防災アプリ、防災ラジオなど、情報伝達ツールの周知を一層推進することが求められています。
- 区内刑法犯認知件数は平成15(2003)年をピークに減少傾向にあり、令和5(2023)年度は前年度に比べ約1割減少しています。

掛け事業や巧妙化した手口で高齢者を狙った多種多様な特殊詐欺が発生しており、区民の防犯に対する関心は高くなっています。

○犯罪予防効果のある防犯カメラの設置促進と安定的な運用、区、区民、警察署等関係機関が連携した防犯パトロール活動等、引き続き犯罪が起こりにくい環境づくりへの取組が必要です。

主な取組

① 芝地区防災力向上プロジェクト

震災時における従業員の一斉帰宅の抑制、備蓄品の選定、BCP(事業継続計画)の策定・見直し等、事業者による災害対策を支援するため、芝地区の事業者を対象とする防災セミナーを実施します。

また、町会・自治会等の地域団体と事業者による防災訓練を実施するなど、地域における協働関係の構築を支援し、芝地区の自助・共助による防災力向上を推進します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画(スケジュール)			計
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	
自助・共助による 地域防災力の向上	オンライン 防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 9回・300社
事業費(千円)		4,072	4,072	4,072	12,216

② 地域の安全・安心を守る取組の推進

区民にとって安全で安心なまちづくりを進めるため、24時間体制で行う青色防犯灯を備えたパトロールカー(青パト)による巡回や、地域と協力した夜間パトロール活動を行います。

また、町会・自治会等が設置する防犯カメラの整備や運用、維持管理に対する補助事業の積極的な活用に向けて区民等に制度を広く周知し、防犯カメラの整備が促進され、設置主体による適切な維持管理が図られるよう支援します。

関連計画等

- ・港区地域防災計画(主な取組①)
- ・港区生活安全行動計画(主な取組②)

成果指標
施策内の主な取組から代表的な取組についての成果を数値で設定しています。

関連計画等
取組に関連する区の個別計画等を記載しています。

分野別計画からの再掲事業(芝地区)

地区版計画書の主な取組とは別に、港区基本計画・分野別計画から再掲する事業については、「分野別計画からの再掲事業(芝地区)」として掲載しています。

事業計画欄の記号(矢印)は次の内容を表しています。

調査→	事業実施以前の段階で調査、研究等を行う年次に使用します。施設計画の場合は、整備計画等の業務を含みます。
設計	-----→	設計を行う年次に使用します。
建設中	————→	設計(新設)の場合で、建設に着手以降の完成までの間の年次に使用します。
改築中	————→	改築(改修)の場合で、改築(改修)に着手以降完成までの間の年次に使用します。

政策のめざす方向性

芝地区は、夜間人口の約 10 倍もの昼間人口を抱え、いつも多くの人々が行き交っているまちです。まちに関わるすべての人がお互いに協力し合い、大地震や台風などの自然災害や、都市型犯罪等の様々な危機に対する安全・安心に向けた取組を推進するとともに、うるおいややすらぎのある快適な生活空間が実感できるまちをつくりまします。

改定のポイント

地域団体、事業者、関係機関など、多様な主体がより強固につながり、災害時や日常における地域の安全・安心を確保するための取組を進めます。

また、芝地区の環境に係る様々な事業や取組を連携させ、地域に密着した活動を進めることで、芝地区のエコ意識を高めます。

成果指標

成果指標名	区分	前期の成果			計画目標値	
		当初	中間		中間	最終
		令和元 (2019)年度	令和4 (2022)年度	達成 状況	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度末
政策 1 芝地区が住みよいと考 えている区民の割合	目標	—	84%	未達成	88%	90%
	実績	79%	82%			
政策 1 「地域の防災」が課題と 考えている区民の割合	目標	—	69%	達成	65%	64%
	実績	74%	69%			
政策 1 「まちの環境美化」が課 題と考えている区民の 割合*	目標	—	58%	達成	54%	53%
	実績	62%	55%			

出典：港区基本計画・芝地区版計画書に関する区民意識調査（令和5（2023）年1月）

※令和4（2022）年度時点の実績を踏まえ、計画目標値を上方修正しました。

芝地区の現状

昼間人口

多数の事業所が立地し、昼間人口が夜間人口の約 10 倍にのぼる芝地区では、地区に暮らし、働き、学ぶ全ての人々が協力し合える関係を構築できるよう支援をしていくことが必要です。

	昼間人口（人）	事業所数（民営）
港区	972,673	41,049
芝地区	386,758	17,292
麻布地区	121,516	6,563
赤坂地区	180,275	10,214
高輪地区	89,862	3,424
芝浦港南地区	194,260	3,556

出典：令和2年国勢調査※、令和3年経済センサス活動調査

※数字の単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

環境美化

昼間人口が多い芝地区では、受動喫煙対策や違法置き看板の撤去など、町会・自治会、事業者、行政機関等、地域に関わる多様な主体が一体となって地域の環境美化に取り組んでいます。



芝地区クリーンキャンペーン

政策体系

政策 1 ともに作る安全・安心・快適で美しいまち「芝」

施策 (1) 地域が一体となり魅力ある美しいまちをつくる

- 主な取組
- ①地域のまちづくり活動への支援
 - ②安全で人にやさしい公共空間の整備
 - ③地域の環境美化活動の推進

施策 (2) 災害に強く安全で安心できるまちをつくる

- 主な取組
- ①芝地区防災力向上プロジェクト 
 - ②地域の安全・安心を守る取組の推進

施策 (3) 環境にやさしいまちをつくる

- 主な取組
- ①エコ芝 教室 
 - ②緑の保全と緑化の推進

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  (芝次郎) が付いているものが地域事業です。

芝地区ならではの先進性・独自性

「芝地区防災力向上プロジェクト」では、事業者が高度に集積するという芝地区の独自性を踏まえて、セミナーでは事業者と町会・自治会との連携の必要性、重要性を認識し理解する内容にするなど、地域における協力関係の構築を支援し、芝地区の自助・共助による防災力向上を推進します。

また、「エコ芝 教室」では様々な事業者や町会・自治会等の地域団体が参加する芝地区クリーンキャンペーンと連携し、独自に作成した啓発品の配布活動を展開するなど、既存の芝地区独自事業との発展的連携により、芝地区の子どもから高齢者まで、誰でも簡単に始められる脱プラスチック生活の学習をとおして、芝地区のエコ意識を高めます。

SDGsのゴールとの関係



施策
(1)

地域が一体となり魅力ある美しいまちをつくる

目標・期待する成果

地域が一体となった道路や公園などの整備、地域での環境美化活動の推進により、誰にとっても暮らしやすいまちをつくれます。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間(見込)	達成状況	最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度		令和8 (2026)年度末
芝地区クリーンキャンペーン 参加団体・事業者数	目標	—	410 団体	達成	450 団体
	実績	341 団体	427 団体		

現状と課題

- 芝地区内には、11か所の自転車駐車場（暫定施設を含む）が設置されており、放置禁止区域を定め、即時撤去等の放置自転車対策を実施しています。また、開発事業の機会を捉えて、一般利用が可能な民設民営の自転車駐車場を確保することで、放置禁止区域を定め、事業者と協力して放置自転車対策に取り組んでいます。芝地区内の放置自転車数は減少しているものの、引き続き対策の強化に取り組んでいく必要があります。
- 通行の妨げや景観の悪化を招く路上置き看板や路上にテーブルや椅子を置いての営業が問題となっています。新橋の繁華街では、不法投棄や不適切なごみ出し等により、まちの美観を損ねている箇所やごみの散乱が目立つ場所が複数存在しており、清潔できれいなまちを実現するための取組が求められています。
- 芝地区では、芝地区生活安全・環境美化活動推進協議会が主体となり、地区内の主要駅周辺（6つのエリア）にて年10回、清掃活動や放置自転車・違法置き看板への警告札貼付、みなとタバコルールの啓発等を行う、「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち！～」を実施しています。平成18(2006)年度から活動を開始し、現在では町会・自治会をはじめ、団体、事業者及び関係行政機関から年間で延べ約4,000人が参加しています。
- SNSを活用するなど活動のPRを強化したことにより、芝地区クリーンキャンペーンへの新規参加団体・事業者数は大幅に増加しています。今後は、会場に掲示する参加団体の紹介コーナー等を充実していくことで、新たな事業者等の参加を促し、あらゆる主体が一体となってより一層地域の活性化を図っていくことが必要です。



○芝地区には、区が設置した9か所の屋外指定喫煙場所（うち2か所は加熱式たばこ専用喫煙場所、3か所は屋外密閉型指定喫煙場所）があります。コンテナ型屋外密閉型喫煙場所の整備により、公共の場所でのたばこの煙の流出が抑えられ、受動喫煙の防止に繋がっています。また、望まない受動喫煙の防止をより一層推進するため、喫煙者への指導・啓発活動による「みなとタバコルール」の更なるルール徹底が求められています。

主な取組

① 地域のまちづくり活動への支援

誰もが住み慣れた地域で、安全で安心して住み続けられるまちをつくるための自主的な活動を支援します。「港区まちづくり条例」で規定するまちづくり組織や組織づくりを進める団体等に対し、コンサルタントを派遣するとともに、出前講座を行うなどの支援をします。また、開発事業者等に対して、地域で様々な人が暮らし、働き続けられるまちづくりの提案を要請します。

② 安全で人にやさしい公共空間の整備

安全で快適な歩行環境を確保していくため、道路の段差解消等を推進していくほか、地域住民や事業者、道路管理者、警察等と協働し、違法駐車・駐輪の排除や放置防止をはじめ、自転車の通行マナーの向上に向けた普及・啓発、道路障害物の撤去などに取り組みます。

また、誰もが快適に利用できる道路や公園づくりをめざし、視覚障害者誘導用ブロックの連続化やベンチの設置を行うとともに、公園などの水飲み・手洗場等を高齢者、障害者等が利用しやすいように改善を進めます。

道路・公園等の維持管理に当たっては、アドプト制度の活用など、施設と関わりのある多様な主体との協働を進め、地域住民及び利用者の意向等を踏まえながら管理します。公園や児童遊園（一部の公園等を除く）は、指定管理者制度の継続により、民間事業者の持つノウハウや専門性を活用し、区民ニーズに応えられるよう、質の高いサービスを提供するとともに、周辺の区民や事業者の参加・協力を得ながら、公園のにぎわいを創出していきます。また、コロナ禍で縮小していたイベントについても、アフターコロナの状況を踏まえ、利用者や地域と連携して実施します。

※アドプトとは、「養子にする」という意味があり、地域の道路・公園等を「養子」に、区民等で構成する団体等を「里親」に見立てて、「養子」の美化、清掃等に「里親」が関与するという意味からアドプト制度と呼んでいます。

③ 地域の環境美化活動の推進

港区内で暮らす人、働く人、学ぶ人、訪れる人など全ての人を守るべきルールとして「港区環境美化の推進及び喫煙による迷惑の防止に関する条例」で定められている「みなとタバコルール」を着実に浸透させるため、事業者等に対する啓発物の配布や「みなとタバコルール」を守らない人に対する指導・啓発に取り組んでいます。

区民等が公共の場所でたばこの煙を吸わされないことがないように、巡回指導の強化や新たな屋内喫煙場所、屋外密閉型喫煙場所の整備等により受動喫煙防止に取り組み、吸う人と吸わない人が共生できる快適な環境づくりを進めます。また「路上喫煙ゼロのまち」をスローガンに、町会・自治会、商店会、事業者等と協働し、定期的に芝地区クリーンキャンペーンを実施し、まちの環境美化活動を推進します。

さらに、『芝地区清潔なまちの実現に向けた活動推進事業』では、まちの美観を損ねている箇所やごみの散乱が目立つ場所をなくすために、繁華街の道路やごみ集積所周辺を中心に、委託業者による巡回清掃を定期的実施するとともに、道路上の汚れを落とすための高圧洗浄清掃作業とガム痕除去作業を行います。あわせて、町会・自治会、国道・都道の道路管理者、警察署と協働したパトロールにより、路上に置かれた看板やテーブル等の撤去指導を進めます。

**関連計画等**

※関連計画等の詳細は、計画名称の右の二次元コードからご確認いただけます。

- ・港区まちづくりマスタープラン（主な取組①）
- ・港区交通安全計画（主な取組②）
- ・港区総合交通計画（主な取組②）
- ・港区自転車交通環境整備計画（主な取組②）
- ・港区バリアフリー基本構想（主な取組②）
- ・港区環境基本計画（主な取組③）
- ・港区生活安全行動計画（主な取組③）



施策
(2)

災害に強く安全で安心できるまちをつくる

目標・期待する成果

区、区民、事業者がそれぞれの役割を果たした災害対策を推進します。また、地域が一体となって防犯意識を高め、犯罪が起こりにくい環境を整えることで、安全で安心できるまちをつくります。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間(見込)	達成状況	最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度		令和8 (2026)年度末
BCPの策定や見直しに着手した事業者数※(延べ数)	目標	—	270社	未達成	230社
	実績	31社	100社		

※「芝地区防災力向上プロジェクト」における「事業者向け防災セミナー」の受講者に対する追跡調査の回答を集計令和5(2023)年度実績(見込)を踏まえ、計画目標値を下方修正しました。

現状と課題

- 「自助」「共助」「公助」の防災の基本理念に基づき、区、区民、事業者それぞれが役割と責任を果たし、効果的な災害対策を推進しています。昼間人口の多い芝地区では、特に事業者が果たす役割を様々な機会を通じて啓発していくことが必要です。
- 芝地区は、町会・自治会で組織される7つの地域防災協議会が活動しており、自助・共助による災害対策の強化を目的とし、防災訓練を実施しています。
- 芝地区では、駅周辺の事業者等で構成される4つの駅周辺滞留者対策推進協議会(虎ノ門、新橋、浜松町、田町)が活動しており、災害時に予測される帰宅困難者による混乱抑制のため、滞留者の受入施設の確保や、避難者を誘導する訓練等に取り組んでいます。また、令和4年度は発災後に協議会メンバーが円滑に本部を開設できるよう、新橋、浜松町、田町駅の3つの駅周辺滞留者対策推進協議会においてVR動画を作成しました。
- 芝地区では、過去に台風や集中豪雨による浸水被害が発生しています。現在は、古川の氾濫を防ぐ地下調節池が整備されるなど、浸水対策が強化されていますが、水害に対する日頃の備えや、浸水からの避難に関する正しい知識について、より多くの区民に普及・啓発を進めることが必要です。
- 芝地区には、土砂災害警戒区域に指定されている場所があり、気象警報発令時等は区から注意喚起を行っています。多くの区民、来街者等へ情報をすみやかに伝達するため、防災情報メール、防災アプリ、防災ラジオなど、情報伝達ツールの周知を一層推進することが求められています。
- 区内刑法犯認知件数は平成15(2003)年をピークに減少傾向にあります。女性や子どもへの声



掛け事案や巧妙化した手口で高齢者を狙った多種多様な特殊詐欺が発生しており、区民の防犯に対する関心は高くなっています。

○犯罪予防効果のある防犯カメラの設置促進と安定的な運用、区、区民、警察署等関係機関が連携した防犯パトロール活動等、引き続き犯罪が起これにくい環境づくりへの取組が必要です。

主な取組

① 芝地区防災力向上プロジェクト

震災時における従業員の斉帰宅の抑制、備蓄品の選定、BCP（事業継続計画）の策定・見直し等、事業者による災害対策を支援するため、芝地区の事業者を対象とする防災セミナーを実施します。

また、町会・自治会等の地域団体と事業者による防災訓練を実施するなど、地域における協力関係の構築を支援し、芝地区の自助・共助による防災力向上を推進します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
自助・共助による 地域防災力の向上	オンライン 防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 3回・100社	防災セミナー 9回・300社
事業費（千円）		4,072	4,072	4,072	12,216

② 地域の安全・安心を守る取組の推進

区民にとって安全で安心なまちづくりを進めるため、24時間体制で行う青色防犯灯を備えたパトロールカー（青パト）による巡回や、地域と協力した夜間パトロール活動を行います。

また、町会・自治会等が設置する防犯カメラの整備や運用、維持管理に対する補助事業の積極的な活用に向けて区民等に制度を広く周知し、防犯カメラの整備が促進され、設置主体による適切な維持管理が図られるよう支援します。

関連計画等

※関連計画等の詳細は、計画名称の右の二次元コードからご確認ください。

- ・港区地域防災計画（主な取組①）
- ・港区生活安全行動計画（主な取組②）



施策 (3) 環境にやさしいまちをつくる

目標・期待する成果

子どもから高齢者まで、幅広くエコの意識を高めます。緑の保全や緑化の普及・啓発により、環境にやさしいまちをつくります。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間（見込）	達成状況	最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度		令和8 (2026)年度末
脱プラスチックに関する意識が高まった人の数※	目標	—	300人	達成	600人
	実績	—	310人		

※「エコ芝教室」（新規事業）の参加者（講演会及びワークショップ）を対象としたアンケートの回答を集計

現状と課題

- 環境問題として注目されている海洋プラスチックごみ問題に対するエコ意識の醸成のため、使い捨てプラスチックの使用抑制等について継続的な普及・啓発と情報発信を行う必要があります。
- 商業・業務地が広がっているため、芝地区の緑被率は17.8%と他の地区に比べて低いものの、芝公園、愛宕神社など自然環境に恵まれた古くからの緑地が地域に住む人、働く人の憩いの場となっています。
- 民有地における緑の保全と緑化推進のため、屋上・壁面緑化や保護樹木・樹林指定等の助成制度の積極的な活用を促進する必要があります。



環境・エコのイメージキャラクター「芝次郎」



区立芝公園



主な取組

① エコ芝 教室

脱プラスチック推進・ごみ減量をテーマに、海洋プラスチックごみ問題について理解を深める講演会や区内施設の見学会、生活に取り入れやすい取組を紹介するワークショップを区民協働で開催します。また、芝地区クリーンキャンペーンと連携した活動を展開するなど、子どもから高齢者まで、誰でも簡単に始められる脱プラスチック生活の学習をとおして、芝地区のエコ意識を高めます。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
脱プラスチック・ ごみ減量に関する 意識の向上	脱プラスチック に関する講演会 1回・80人 ワークショップ 4回・40人	意識の向上に つながる学習の 取組 1,000人	意識の向上に つながる学習の 取組 1,000人	意識の向上に つながる学習の 取組 1,000人	意識の向上に つながる学習の 取組 3,000人
事業費（千円）		704	704	704	2,112

② 緑の保全と緑化の推進

景観や環境に配慮したまちづくりを進めるため、民間施設の屋上・壁面緑化に対する補助や保護樹木・樹林指定及び維持管理に対する補助などの支援を行います。

また、街路樹を良好な状態で維持し、街路樹柵への草花の植え付けを進めるなど道路緑化を推進するとともに、区立公園等での草花の植え付けや園芸講座などにより、区民、事業者に対して緑化の普及・啓発に取り組めます。

関連計画等

※関連計画等の詳細は、計画名称の右の二次元コードからご確認ください。

- ・港区環境基本計画（主な取組②）
- ・港区緑と水の総合計画（主な取組②）



分野別計画からの再掲事業（芝地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、芝地区において実施する内容を掲載します。

都市計画道路の整備 重点課題2 [1-(2)-①] P.99

内容	都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）に基づき、優先整備路線に位置付けられた路線の着手に向け、東京都などの関係者と協議を進めます。また、補助第7号線及び補助第9号線の事業認可区間、補助第332号線の泉岳寺駅地区第二種市街地再開発事業認可区間における整備を推進します。				
	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
活動指標	道路用地取得件数※	目標	—	●愛育クリニック区間 14件 ●二之橋区間 23件	未達成
		実績	●愛育クリニック区間 13件 ●二之橋区間 9件	●愛育クリニック区間 13件 ●二之橋区間 20件	
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	・桜田通り区間 工事中	・桜田通り区間			整備
	・愛育クリニック区間 用地取得0件	・愛育クリニック区間			用地取得(1件)
	・二之橋区間 用地取得10件	・二之橋区間			用地取得(12件)
	・麻布運動場区間 工事中	・麻布運動場区間			整備
	・第二種市街地再開 発事業区間 工事中		・第二種市街地再開 発事業区間		整備
・新規区間(予定)	・新規区間(予定)			用地取得(1件)	
事業費	2,926,474千円	2,689,640千円	2,275,896千円	2,704,596千円	7,670,132千円

※ 用地交渉が難航したため、計画目標値を下方修正しました。



歩道の整備 重点課題5 [1-(2)-①] P.99

内容	自動車と歩行者の通行空間を分離し、歩行者の安全を確保するとともに、防災機能の向上やバリアフリーに配慮した、誰もが安全で安心して移動できるゆとりある歩道の整備や、日陰を確保できる街路樹を配置して、緑のネットワークを整備していきます。また、整備に当たっては自転車の通行空間についても検討し、整備を推進していきます。						
	活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値	
			区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況	令和8(2026)年度末
歩道の設置及び改良延長※1	目標	—	87,020m		未達成	86,791m	
	実績	83,766m	85,791m				
年次計画 スケジュール	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
			芝公園二丁目(365m)				工事中
					新橋四丁目(435m)		工事中
		虎ノ門一丁目(78m) 完了					
		補助7号線(桜田通り 区間)※2(445m) 工事中					
		三田一丁目(中之橋～ 一の橋)(370m)設計 完了	三田一丁目(中之橋～ 一の橋)(370m)				工事中
		三田一丁目(赤羽橋～ 中之橋)(325m)設計 完了		三田一丁目(赤羽橋～ 中之橋)(325m)			工事中
					芝二丁目(325m)		工事中
		麻布十番一・二丁目 (1期193m、2期 372m)完了	麻布十番一・二丁目 (500m)				工事中
		補助9号線(麻布運動 場区間)※3(322m) 設計完了					
		南麻布四丁目(582m) 設計中					
		補助7号線(愛育ク リニック区間)※4 (340m)設計中					
		六本木二丁目(244m) 工事中			六本木二丁目(244m)		工事完了
		六本木七丁目(405m) 設計完了		六本木七丁目(405m)			工事中
				元赤坂一丁目(356m)			工事完了
				赤坂三丁目①(510m)			設計完了
				赤坂三丁目②(670m)			設計完了
		赤坂四丁目(483m)完了					
		赤坂六丁目(97m)工 事中		赤坂六丁目(97m)			工事完了
		北青山二丁目(324m) 完了					
		南青山七丁目(175m) 設計完了					
		元赤坂一丁目(356m) 工事中					
				白金二丁目(173m)			工事完了
		白金六丁目(300m)完了					
		高輪一丁目(130m)設 計中	高輪一丁目(130m)				設計完了
		高輪四丁目(130m)設 計完了	高輪四丁目(130m)				工事完了
		芝浦三丁目(275m)完了	芝浦三丁目(200m)				設計完了
	事業	1,402,528千円	182,685千円	1,630,090千円	500,279千円	2,313,054千円	

※1 電線共同溝工事の遅延により、歩道整備工事が遅れているため、計画を精査した結果、計画目標値を下方修正しました。

※2～4 補助7号線(桜田通り区間)、補助9号線(麻布運動場区間)、補助7号線(愛育クリニック区間)の事業費は、「都市計画道路の整備」の項(P.362)に計上しています。

内容	都市防災機能の強化や安全・安心で快適な歩行空間の創出、美しい街並み景観の形成などを図るため、電線類地中化に優先的に取り組む地域や路線を示し、電線類地中化を計画的に推進します。					
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値	
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成状況 令和8(2026)年度末	
	電線類地中化の整備延長※ ¹	目標	—	51.9km	未達成	52.6km
		実績	50.5km	50.8km		
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~5(2023)年度	後期				
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
	補助7号線(桜田通り区間)※ ² (445m)設計中	補助7(桜田通り)(445m)			→	工事中
	補助7号線(愛育クリニック区間)※ ³ (340m)設計中	補助7(愛育クリニック)(340m)			→	設計中
	補助9号線(麻布運動場区間)※ ⁴ (322m)設計中	補助9(麻布運動場)(322m)			→	工事中
	芝二丁目(325m)工事中	芝二丁目(325m)			→	完了
	浜松町一丁目(466m)設計中	浜松町一丁目(466m)			→	工事中
	虎ノ門一丁目(78m)完了					
	新橋四丁目(435m)設計中	新橋四丁目(435m)			→	工事中
	三田一丁目①(370m)設計中	三田一丁目①(370m)			→	工事中
	三田一丁目②(325m)設計中	三田一丁目②(325m)			→	工事中
	芝公園二丁目(365m)工事中	芝公園二丁目(365m)			→	完了
	六本木二丁目(244m)工事中	六本木二丁目(244m)			→	完了
	六本木七丁目(405m)工事中	六本木七丁目(405m)			→	完了
	東麻布二丁目(364m)設計完了	東麻布二丁目(364m)			→	工事中
	南麻布四丁目(582m)設計中	南麻布四丁目(582m)			→	設計中
	元赤坂一丁目①(356m)工事中	元赤坂一丁目①(356m)			→	完了
				元赤坂一丁目②(100m)	→	設計中
	赤坂五丁目(390m)設計中					
	赤坂六丁目(100m)工事中	赤坂六丁目(100m)			→	完了
	南青山七丁目(175m)設計中					
	白金台一丁目(510m)設計中	白金台一丁目(510m)			→	工事中
	高輪一丁目(120m)設計中	高輪一丁目(120m)			→	工事中
	芝浦三丁目①(303m)完了					
	芝浦三丁目②(200m)設計中	芝浦三丁目(200m)			→	設計中
	事業費	1,369,398千円	1,762,215千円	789,470千円	1,280,145千円	3,831,830千円

※1 計画を精査した結果、目標計画値を下方修正しました。

※2~4 補助7号線(桜田通り区間)、補助7号線(愛育クリニック区間)、補助9号線(麻布運動場区間)の事業費は、「都市計画道路の整備」の項(P.362)に計上しています。

自転車通行空間整備の推進 **重点課題4** [1-(2)-①] P.99

内容	「港区自転車通行空間整備計画」に基づき、安全・安心で快適な自転車利用環境の整備を推進します。警察や国道、都道の管理者等と連携し、自転車専用通行帯や自転車ナビマーク等により、歩行者・自転車・自動車を分離した自転車通行空間を整備します。				
	活動指標	指標名	前期の実績		
区分			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
		自転車ネットワークの整備*	目標	—	32.22km
実績	24.02km	31.70km			
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	7.6km完了 6.5km設計	3.0km	2.1km	0.5km	5.6km 施工
事業費	84,232千円	49,654千円	34,193千円	8,247千円	92,094千円

※ 契約不調や電線共同溝工事の遅延により自転車通行空間の整備が遅れているため、計画目標値を下方修正しました。

子育て送迎ルート整備の推進 **重点課題3** [1-(2)-①] P.99

内容	子ども乗せた自転車の安全な通行を支援するとともに、歩行者や自転車に対して子育て施設につながる道路としての認識を促し、道路を通行する全ての人が気付き、理解できるよう、「港区自転車通行空間整備計画」に基づき子育て送迎ルートの整備を推進します。				
	活動指標	指標名	前期の実績		
区分			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
		子育て送迎ルートの整備	目標	—	—
実績	—	0.5km			
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	0.5km	0.8km	1.6km	2.2km	5.1km 施工
事業費	35,697千円	54,867千円	107,089千円	146,090千円	308,046千円

内容	地域の子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、地域の大人や高齢者にとっても身近なコミュニティ形成の拠点の一つとして、安心して集い和める魅力ある児童遊園を整備します。保育園の代替園庭となることを考えた施設整備等についても検討します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	児童遊園の整備数	目標	—	1 園	達成
実績	0 園	1 園			
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	西町つなぐ児童遊園 完了				
	芝五丁目児童遊園 設計中	芝五丁目児童遊園 ----->	—————>		完了
	六本木三丁目児童遊園 設計完了	六本木三丁目児童遊園 —————>			完了
西麻布二丁目児童遊園 設計中	西麻布二丁目児童遊園 —————>			完了	
事業費	152,368 千円	95,974 千円	66,784 千円	46,242 千円	209,000 千円

快適な公衆・公園トイレの整備 重点課題4 [1-(2)-③] P.103

内容	公衆トイレや公園トイレを計画的に整備します。令和5(2023)年4月に策定した「進めよう！おもてなし公衆トイレ」整備方針に基づき、男女それぞれの個室のトイレを基本として整備し、バリアフリー対応のトイレ、内外部の照明及び緊急時押しボタンの設置等により、誰もが安全で快適に利用できるトイレにしていきます。					
	活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
区分			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況	令和8(2026)年度末
年次計画 (スケジュール)	トイレの建替え箇所数※	目標	—	2か所	達成	7か所
		実績	0か所	2か所		
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期				
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
			芝園橋際公衆便所	→		完了
		芝五丁目児童遊園	→			完了
	有栖川宮記念公園 (三軒家口)完了					
	一ノ橋際公衆便所 完了					
	六本木三丁目公衆便 所 設計完了	六本木三丁目公衆便所	→			完了
	西麻布二丁目児童遊 園 設計中	西麻布二丁目児童遊園	→			完了
			高輪公園	→		設計完了
	新芝橋際公衆便所 設計完了	新芝橋際公衆便所	→			完了
事業費	185,477千円	232,470千円	141,530千円	250,010千円	624,010千円	

※ 一部の公園トイレにおいて整備の遅延があるものの、新たに六本木三丁目、新芝橋際及び芝園橋際公衆便所の整備を計画計上したため、計画目標値を上方修正しました。

内容	地域の方々が、自らの発意と合意に基づき、都市基盤の整備や住環境の向上など、地域の実情に応じたまちづくりを進めていくために、市街地再開発組合等の活動を支援します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	市街地再開発事業 による地区数※	目標 — 実績 継続4地区	完了4地区 継続8地区 完了4地区 継続1地区	未達成	令和8(2026)年度末 完了6地区 継続7地区
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
			三田小山町西	→	継続
	虎ノ門・麻布台 完了				
	白金一東部北 完了			白金一西部中	→
	浜松町二 継続	→			完了
			西麻布三北東	→	継続
	三田三・四 完了				
			赤坂七-2	→	継続
	虎ノ門一・二 完了				
		虎ノ門一東		→	完了
				六本木五西	→
	※補助事業(着手~完了):			高輪三品川駅前	→
				三田五西	→
	事業費	14,313,607千円	5,163,800千円	1,986,800千円	6,787,200千円

※ 地区により再開発事業の進捗が遅延したため、計画目標値を下方修正しました。



自転車等駐車場の整備・改修 重点課題6 [1-(3)-②] P.111

内容	安全で快適な歩行空間の確保と美しい街並みを形成するとともに、自転車等利用者の利便性向上のため、大型のチャイルドシート付自転車や幅広タイヤ等多様化する自転車需要に対応した自転車等駐車場の整備・改修を推進します。				
活動指標	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成状況 令和8(2026)年度末
	大型自転車が収容できる機械式自転車駐車場*	目標 実績	— 0か所	1か所 1か所	達成 4か所
年次計画スケジュール	前期(見込) 令和3(2021)~5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	(仮称)一の橋公園自転車駐車場設置1か所				
		六本木駅自転車駐車場(改修)	→		完了
		こうなん星の公園自転車駐車場(改修)	→		完了
			桜田公園自転車駐車場(改修)	→	完了
事業費	608,316千円	99,000千円	—	33,000千円	132,000千円

※ 新たな自転車等駐車場用地の確保が困難なことから、供用中の施設の有効活用を図るため、活動指標を見直しました。

内容	ヒートアイランド現象の緩和の一環として、道路において路面温度の低減効果が期待できる遮熱性舗装やアスファルト内に雨水浸透効果のある保水性舗装の整備を推進します。区内のホットエリアを中心に、事業者に対し遮熱性舗装の整備を指示、誘導していきます。					
	活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
区分			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成状況	令和8(2026)年度末
		遮熱性舗装等の面積※ ¹	目標	—	134,543 m ²	未達成
		実績	122,263 m ²	131,941 m ²		
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期				
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
		新橋四丁目 (1013号線)(1,002 m ²)			工事完了	
	虎ノ門一丁目 (1012号線)(780 m ²) 完了					
	新橋三丁目 (1013号線)(2,552 m ²) 完了					
	補助7号線 (愛育クリニック区間) (2,380 m ²)※ ² 設計中					
	六本木七丁目 (1106号線)(6,742 m ²)※ ³ 設計完了		六本木七丁目 (1106号線)(6,742 m ²)		工事中	
			元赤坂一丁目 (1042号線)(2,017 m ²)		工事完了	
	赤坂四丁目 (583-588号線) (2,026 m ²) 完了					
	赤坂六丁目 (874号線)(660 m ²) 設計完了		赤坂六丁目 (874号線)(660 m ²)		工事完了	
	北青山二丁目 (1044号線)(2,454 m ²) 完了					
	元赤坂一丁目 (1042号線)(2,017 m ²) 設計完了					
			芝浦三丁目 (1030号線)(2,436 m ²)		工事完了	
	芝浦四丁目 (1153号線)(1,866 m ²) 完了	芝浦四丁目 (837号線)(1,544 m ²)			工事完了	
	港南二丁目 (1134号線)(2,257 m ²) 設計完了	港南二丁目 (1134号線)(2,257 m ²)			工事完了	
事業費	156,163千円	101,035千円	133,576千円	68,240千円	302,851千円	

※1 電線共同溝工事の遅延により、計画を精査した結果、計画目標値を下方修正しました。

※2・3 補助7号線(愛育クリニック区間)、六本木七丁目(1106号線)の事業費は、「歩道の整備」の項(P.363)に計上しています。

密閉型指定喫煙場所の整備 重点課題5 [2-(8)-①] P.157

内容	より分煙効果が高い喫煙場所として、屋外密閉型喫煙所・屋内喫煙所の整備を積極的に推進し、たばこを吸う人も吸わない人も快適に過ごせるまちを実現します。					
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値	
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況	令和8(2026)年度末
	屋外密閉型指定喫煙場所及び屋内指定喫煙場所の数		目標	—	76 か所	未達成
		実績	48 か所	70 か所		
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			計	
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度		
	30 か所	10 か所	10 か所	10 か所	30 か所	
事業費	345,000 千円	115,000 千円	115,000 千円	115,000 千円	345,000 千円	

Ⅱ にぎわうまち

政策のめざす方向性

地域の人と人とのつながりを生かしながら、地域活動の新たな担い手の発掘や交流の場の創出等により、活気あるコミュニティの形成を支援します。また、NPO、事業者、全国各地域の自治体など、多様な主体との交流・連携を推進し、芝地区の魅力を高め、発信することで、住民が芝地区ならではの豊かさと幸せを感じることでできるまちをつくりまします。

改定のポイント

地域コミュニティを活性化できる「人財」の育成や、世代を問わずつながることが出来るコミュニティガーデンの運営などについては、町会等の地域団体との連携を重視して取り組みまします。

養蜂事業や全国自治体との連携などは、多世代交流の促進、地域活性化につながることから、情報発信により周知を進めます。また、地域の魅力を様々な手法を用いて発掘・発信するとともに、より参加しやすい環境をつくり、活気にあふれるコミュニティ形成を進めます。

成果指標

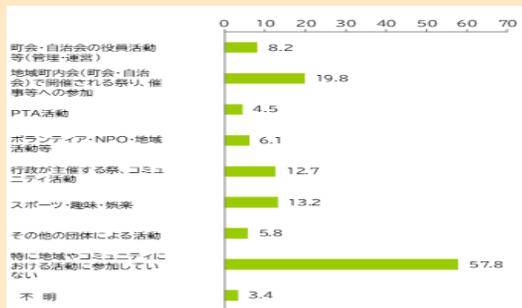
成果指標名	区分	前期の成果			計画目標値	
		当初	中間	達成状況	中間	最終
		令和元 (2019)年度	令和4 (2022)年度		令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度末
政策 1 地域コミュニティ活動に参加している区民の割合	目標	—	50%	未達成	60%	66%
	実績	39%	39%			
政策 1 「地域コミュニティづくり」が課題と考えている区民の割合*	目標	—	52%	達成	36%	35%
	実績	58%	37%			
政策 1 「歴史・文化の伝承」が課題と考えている区民の割合	目標	—	36%	未達成	34%	32%
	実績	40%	40%			

出典：港区基本計画・芝地区版計画書に関する区民意識調査（令和5（2023）年1月）
 ※令和4（2022）年度時点の実績を踏まえ、計画目標値を上方修正しました。

芝地区の現状

コミュニティ活動への参加状況

区民意識調査では、「特に地域やコミュニティにおける活動に参加していない」と回答した割合が57.8%となっており、コミュニティ活動への参加促進が必要です。



出典：港区基本計画・芝地区版計画書に関する区民意識調査（令和5（2023）年1月）

地域情報の発信

芝地区公式SNS、区ホームページ、芝地区地域情報誌等、様々な媒体を活用して、芝地区で行われている各種事業の紹介や、地域の取組を広く発信し、人々の交流、地区全体の活性化を促しています。



芝地区公式Instagram

政策体系

政策 1 多様なコミュニティが息づくまち「芝」

施策 (1) 多様な主体の交流を促進してコミュニティが広がるまちをつくる

- 主な取組
- ①ご近所イノベーション学校 ～芝に幸せをよぶ人づくり～ 
 - ②地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト 
 - ③芝 BeeBee'sプロジェクト 
 - ④地域コミュニティ活動の支援・多様な交流の促進
 - ⑤全国の自治体との連携

施策 (2) 地域の魅力を発掘・発信してにぎわいあふれるまちをつくる

- 主な取組
- ①多様性を学ぶまち ～SHIBA～ 
 - ②芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ「芝」～ 
 - ③竹芝プロジェクト ～ともにつながる未来へ～ 
 - ④地域情報の発信・共有

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  (芝次郎) が付いているものが地域事業です。

芝地区ならではの先進性・独自性

「芝BeeBee'sプロジェクト」では、活動の副産物として採取したはちみつを地域の事業者・学生へ提供し新たな商品を作成・販売することで、芝地区の新たな魅力を発信します。

また、「竹芝プロジェクト ～ともにつながる未来へ～」では、島しょ地域への船の玄関口である竹芝エリアに着目し、多様な主体と区民参画組織の連携・協働を深め、魅力と活気にあふれる地域づくりをめざします。

SDGsのゴールとの関係



施策
(1)

多様な主体の交流を促進してコミュニティが広がるまちをつくる

目標・期待する成果

コミュニティの担い手が発掘・育成され、多様な立場・世代の人が集い、交流する場や機会を創出することで、地域コミュニティの活性化を図ります。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間(見込)	達成状況	最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度		令和8 (2026)年度末
芝の家、ご近所ラボ新橋の 来場者数*	目標	—	10,500人	未達成	11,000人
	実績	4,851人	8,762人		

※令和2(2020)年4月から6月、令和3(2021)年4月下旬から5月中旬は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため休室

現状と課題

- 芝地区では、近年、高層マンションの増加等によって新たな住民が増えており、再開発によるまち並みや生活環境の変化、ライフスタイルの多様化などにより、古くからの地域のつながりが薄れてきています。
- 芝地区の町会・自治会の会員数は減少傾向にあります。マンション等集合住宅居住者や事業所会員の加入促進のため、地域活動の周知・情報発信等の支援を強化する必要があります。また、会員の高齢化が進み、会長や役員の担い手不足による負担の増加や、活動自体が縮小されている団体もあります。
- 地域コミュニティを活性化するために、町会・自治会のような住民組織やNPO、事業者などが行う地域活動の支援に加え、地域人材の発掘や育成など外国人も含めた地域の人々がつながるための方策や、交流の場と機会の創出を積極的に進める必要があります。
- 茨城県阿見町、福島県いわき市、山形県置賜地域、東京都島しょ地域など、全国の自治体との連携をこれまで以上に発展させ、相互の地域活性化につながる取組を推進することが求められています。



コミュニティを担う人材の発掘
(ご近所イノベータ養成講座)



オンラインを活用した全国連携の推進
(山形県置賜地域)



主な取組

① ご近所イノベーション学校 ～芝に幸せをよぶ人づくり～

地域に関わる一人ひとりが「やりたいことをまちにつなげる」ことで実現する新しい地域づくり（＝ご近所イノベーション）を支援する「ご近所イノベータ養成講座」を実施します。講座をとおして地域コミュニティを活性化し、人と人、組織と組織をつなぐことができる「人財」を養成します。また、町会等の地域団体との連携や、ご近所イノベータ養成講座に関する情報発信の仕組みを構築するとともに、講座修了生の活動を支援することにより、長期的な地域コミュニティの活性化と定着を図ります。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
地域活動の担い 手発掘	養成講座実施 9回	養成講座実施 9回 修了生活動支援	養成講座実施 9回 修了生活動支援	養成講座実施 9回 修了生活動支援	養成講座実施 27回 修了生活動支援
事業費（千円）		3,400	3,400	3,400	10,200

② 地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト

子どもから高齢者まで世代を問わずつながり、交流できるプラットフォームを運営します。誰でも気軽に立ち寄れるよう、来場者のニーズに合わせた活動を行う、内と外をシームレスな空間にするなど、地域に開けた空間づくりを推進します。また、オンラインイベントの開催や、地元町会と連携したコミュニティガーデンの運営など、新しい取組を推進することにより、新たな来場者やイベント参加者を含めた多様な交流を一層促進します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
誰もが集い、交流 することができる 場づくり	地域交流拠点の 運営 2拠点	芝の家 ご近所ラボ新橋	芝の家 ご近所ラボ新橋	芝の家 ご近所ラボ新橋	芝の家 ご近所ラボ新橋
事業費（千円）		13,500	13,500	13,500	40,500



芝の家



ご近所ラボ新橋

③ 芝 BeeBee's プロジェクト

区民協働による養蜂事業を実施し、子どもから高齢者まで幅広い層の区民が、ミツバチの飼育をとおして環境について学ぶ機会を創出するとともに、多世代交流を推進します。また、そこで採れたはちみつ「しばみつ®」を芝地区の名産品として販売するほか、事業者と連携して地域のPRに活用するなど、芝地区の新たな魅力を創出します。しばみつ®や芝 BeeBee's の活動等の継続的な情報発信により、より多くの人へ周知を図り、学校や事業者等と連携し、多様な人が活動へ参加できるよう構築します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
多世代交流の推進、 地域の魅力発信	養蜂活動（内検） 養蜂見学会 35回	養蜂活動（内検） 養蜂見学会 35回	養蜂活動（内検） 養蜂見学会 35回	養蜂活動（内検） 養蜂見学会 35回	養蜂活動（内検） 養蜂見学会 105回
事業費（千円）		3,526	3,526	3,526	10,578

④ 地域コミュニティ活動の支援・多様な交流の促進

様々な区政情報の提供や加入促進、他の団体との連携・協働・交流に関する助言など、町会・自治会の活動を支援します。

「ふれ愛まつりだ、芝地区！」など、地域住民、事業者、大学、NPO、連携自治体等との協働で企画・運営するイベントを開催し、多様な人が地域を舞台に交流できる機会づくりを進めます。

また、区民参画組織との協働により、地域の活性化につながる新たなイベントを企画・開催

⑤ 全国の自治体との連携

イベントや交流事業などを通じて全国の連携自治体との絆を深め、相互に支え合い発展していく関係を構築し、互いの地域活性化や住民の豊かさの向上に取り組みます。

<芝地区が連携する全国の自治体>

●茨城県阿見町

阿見町は茨城県南部に位置し、東京から JR 常磐線や常磐自動車道を利用して約1時間の場所にあります。霞ヶ浦とその湖面の彼方に望む名峰筑波山の稜線が織りなす雄大な自然景観が特徴です。豊富な水資源と温和な気候に恵まれ、「阿見グリーンメロン」、銘柄推進産地の指定を受けた「すいか」などの特産品が多くあります。

【連携状況】

平成20年より交流が始まり、地域事業「芝・ネイチャー大学校」での農作業体験や「ふれ愛まつりだ、芝地区！」での産直野菜の販売など、相互の交流を深めています。



芝・ネイチャー大学校農業体験

●福島県いわき市

福島県いわき市は太平洋に面し、一年をとおして温暖な気候に包まれ太陽と海の恵みあふれるまちです。「フラガールが生まれた街いわき」として親しまれ「スパリゾートハワイアンズ」など様々な観光施設を楽しむことができます。全国的に日照時間が長く、寒流と暖流が交わる「潮目の海」と呼ばれるいわき沖があるため、新鮮な農産物や魚介などをたくさん味わうことができます。

【連携状況】

平成20年に「商店街友好都市に関する基本協定」を締結し、令和元年度からは、地域事業「芝・ネイチャー一大学校」で区内の子もたちがいわき市で漁業体験を行うなど、新たな連携を進めています。



芝・ネイチャー一大学校漁業体験

●山形県置賜地域

山形県置賜地域は、山形県南部に位置する3市5町（米沢市・長井市・南陽市・高島町・川西町・白鷹町・飯豊町・小国町）からなる圏域です。「最上川」の源流部に位置し、赤湯、小野川や白布など多くの温泉に恵まれています。言わずと知れた日本三大和牛「米沢牛」の産地でもあるほか、米、ぶどう、さくらんぼなどグルメ観光が充実しています。

【連携状況】

平成27年度より、山形県置賜広域行政事務組合が実施する人材育成講座「人と地域をつなぐ事業」修了生が港区の「芝の家」を訪れ、港区と置賜の住民同士の交流が始まりました。その後、共同企画「24時間トークカフェ～山形県置賜地方を体験する24時間」の開催や、「ふれ愛まつりだ、芝地区！」へ出店するなど、さらなる交流に発展しています。



24時間トークカフェ

●東京都島しょ地域

伊豆諸島の9島（大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、青ヶ島）と小笠原諸島の2島（父島、母島）の計11島からなる、美しい自然と豊かな海洋資源に恵まれた「東京の宝島」として知られています。竹芝客船ターミナルから最短1時間45分で行くことができます。

【連携状況】

令和元年9月に伊豆諸島・小笠原諸島の文化・観光資源を紹介する「東京愛らんどフェア」を新橋SL広場で開催しました。また、「みなと区民まつり」や「全国連携マルシェ in 芝浦」に東京都島しょ振興公社が出展し、連携を進めています。



東京愛らんどフェア

関連計画等

※関連計画等の詳細は、計画名称の右の二次元コードからご確認いただけます。

- ・港区観光振興プラン（主な取組⑤）



施策
(2)

地域の魅力を発掘・発信してにぎわいあふれるまちをつくる

目標・期待する成果

芝地区の魅力を発掘し、地区内外の多くの人に発信することで、地域のにぎわいを創出し、区民が誇りや愛着を持つことのできるまちをつくります。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間(見込)	達成状況	最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度		令和8 (2026)年度末
芝地区SNSのフォロワー数*	目標	—	2,500人	達成	4,000人
	実績	—	2,520人		

*芝地区公式X(旧Twitter)とInstagramの合計フォロワー数を集計

現状と課題

- 芝地区では、歴史・文化的史跡や豊富な文化財、自然環境等、地域の貴重な資源をよく知る区民(芝会議メンバー)等がまち歩きや講座等を通じて芝地区の魅力を発掘・発信し、誰でも参加しやすいをテーマに活動を展開しています。今後は知識を継承できる次世代の人材育成が必要です。
- 竹芝エリアや虎ノ門エリア等、再開発が進み変化するまちを芝地区の新たな魅力として発信し、魅力と活気にあふれる地域の創出につなげていくことが求められています。
- 竹芝エリアが玄関口となる東京都島しょ地域との連携を推進し、より多くの人に竹芝エリアを訪れてもらうため、互いの地域の活性化を図りながら魅力あるまちづくりを推進することが必要です。
- 芝地区では、地域に密着した情報を発信するため、年3回「芝地区地域情報誌」を発行し、区内全戸に配布しています。
- 芝地区で行われている地域イベントや芝地区総合支所が実施する事業、行政サービス等をより多くの人に知ってもらうため、SNS等を活用した積極的な情報発信が必要です。



「芝の語り部」によるまち歩きツアー



再開発により新しいまちづくりが進む竹芝エリア



主な取組

① 多様性を学ぶまち ～SHIBA～ 

官民連携の取組の1つである竹芝地域のエリアマネジメント（竹芝 Marine-Gateway Minato 協議会）との取組を強化し、竹芝エリアの地域資源を生かし、竹芝干潟等を活用した生物の多様性を学習する機会を提供するほか、芝地区管内の地上配電機器（屋外トランスボックス）に障害者週間記念事業で表彰された作品を設置し、在住・在勤・在学者等に向け、心のバリアフリーと街の景観を向上させます。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
多様性を学習する 機会の提供	2回実施	2回実施	2回実施	2回実施	6回実施
心のバリアフリーと街の景観向上	TB アート※ 3基設置	TB アート 3基設置	TB アート 3基設置	TB アート 3基設置	TB アート 9基設置
事業費（千円）		2,490	2,490	2,490	7,470

※TBアート：屋外トランスボックス（地上配電機器）に展示された作品

② 芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ「芝」～ 

芝地区区民参画組織「芝会議」の「まちの魅力発掘部会」が芝地区の魅力を発掘・発信・創造します。「芝の語り部※」による多彩なまち歩きツアーや歴史にまつわる講座を実施し、区内外の人に芝地区の歴史や文化、自然等を広く発信するとともに、「芝の語り部養成講座」により、次世代へつなげる質の高い人材の育成を行います。より多くの人に活動や芝地区の魅力が伝わるよう、誰でも気軽に参加しやすいテーマ設定や、SNSによる積極的な情報発信を行い地域振興を図ります。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
芝地区の歴史・文化の 伝承、地域の 魅力発信	基礎講座 4回 スキルアップ 4回	基礎講座 4回 スキルアップ 4回	基礎講座 4回 スキルアップ 4回	基礎講座 4回 スキルアップ 4回	基礎講座 12回 スキルアップ 12回
	まち歩きツアー等 50回	まち歩きツアー等 50回	まち歩きツアー等 50回	まち歩きツアー等 50回	まち歩きツアー等 50回
事業費（千円）		1,201	1,201	1,201	3,603

※「芝の語り部」とは、「芝会議 まちの魅力発掘部会」が主催する「芝の語り部養成講座」の修了生です。まち歩きツアーや芝の歴史・文化・自然を伝承する講座の開催、芝地区で行われていた風習行事等を取りまとめた「芝の歳時記」の発行等、様々な工夫を凝らして、芝地区の魅力を発信しています。

③ 竹芝プロジェクト ～ともにつながる未来へ～



竹芝エリアのまちづくりに関わる多様な主体と区民参画組織の連携・協働を深め、地域イベントの実施や、区民が竹芝を身近に体感できる取組等の企画を推進し、魅力と活気にあふれる地域づくりをめざします。既存イベントの他、オンラインを活用して島しょ地域との交流を図るなど、様々な視点から竹芝エリアの賑わいを創出します。

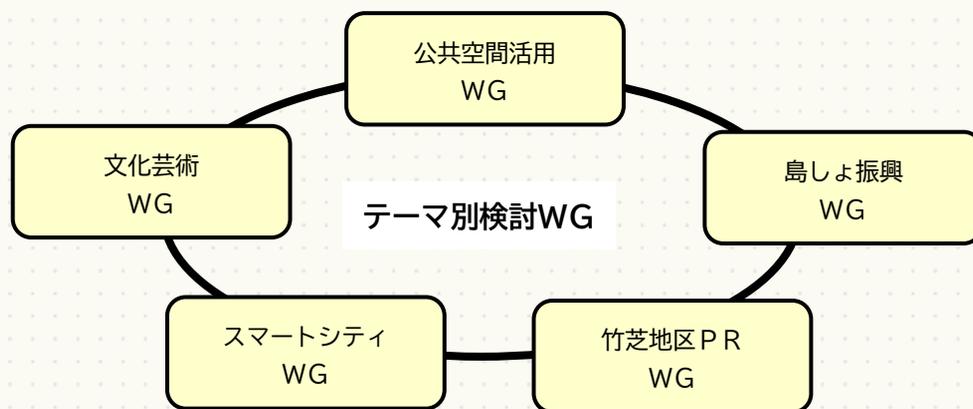
全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
竹芝エリアにおける 連携の推進	連携事業 2回	連携事業 4回	連携事業 4回	連携事業 4回	連携事業 12回
事業費（千円）		2,490	2,490	2,490	7,470

官民連携の取組

<竹芝 Marine-Gateway Minato協議会>

「竹芝Marine-Gateway Minato協議会（以下「竹芝MGM協議会」という。）は官民連携プラットフォームとして地域に関わる多様な人材が集結し、竹芝地区を中心に、JR浜松町駅周辺から竹芝ふ頭に至る一帯の資源・資産や地域連携の取組を最大限に活用し、港区の海の玄関口「竹芝」としての魅力向上させることを目的に令和2年度に組織されました。

竹芝MGM協議会では、「公共空間活用」「文化芸術」「島しょ振興」「スマートシティ」「竹芝地区PR」の検討ワーキンググループ（WG）を設置し、5つの視点から地域の魅力向上・活性化を図るための実効的な取組を進めています。





④ 地域情報の発信・共有

区民の編集委員とともにつくる芝地区地域情報誌や、芝地区総合支所の公式SNS、ホームページ、区設掲示板など様々な情報媒体を活用し、幅広い世代の多くの人と地域の情報を共有するとともに、アフターコロナに向けて新たな交流や地域活動のきっかけづくりを促進します。

芝地区総合支所公式 SNS

芝地区総合支所で実施している事業・行政サービスや地域のできごと・イベントなどを幅広く積極的に発信しています。



芝地区総合支所公式 X (旧 Twitter)



芝地区総合支所公式 Instagram

芝地区地域情報誌

芝地区地域情報誌は、地域のできごと・取組、人物や歴史・文化など、地域に密着した様々な情報を発信し、芝地区の魅力を伝えています。誌面は企画段階のアイデア出しから、取材・編集に至るまで、区民編集委員との協働によってつくられています。



創刊：平成18(2006)年5月
発行：年3回(7月、11月、3月)
部数：毎号31,000部(令和5年3月現在)

芝地区の全世帯に各戸配布しています。また、区有施設や駅等でも配布しています。



芝地区地域情報誌バックナンバー

分野別計画からの再掲事業（芝地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、芝地区において実施する内容を掲載します。

文化芸術の中核拠点となるみなと芸術センターの整備 重点課題1 [4-(14)-③] P.217

内容	区の文化芸術の中核拠点としてみなと芸術センターを整備し、文化芸術を通じた交流や相互理解、それによる多様性を認め合う価値観の醸成をめざします。人々の自由な表現活動を通じて多様性を認め合う価値観を醸成するとともに、区民の意識や行動の変化を促すことで、共生社会の実現につなげます。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	港区立みなと芸術 センターの整備	目標	—	建設中	—
実績		建設中	建設中		
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			計
	建設中	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	完成 (令和8年度竣工)
事業費	—	建設中	建設中	完成 (令和8年度竣工)	完成 (令和8年度竣工)
事業費	—	—	—	7,840,800千円	7,840,800千円

III はぐくむまち

政策のめざす方向性

次の時代を担う子どもたちのため、体験学習の機会の提供や子育て支援施設の充実のほか、高齢者を地域で支える仕組みづくりなど、地域にある様々な資源を生かしながら、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らせるまちをつくります。

改定のポイント

区内事業者等との新たな連携・協働により学習テーマを拡充し、従来の農業・漁業体験とは異なる幅広い分野で芝地区内の子どもたちに様々な体験学習の機会を提供していきます。

高齢者が自分らしくいきいきと暮らせるよう、地域で支えるネットワーク構築に向け、高齢者と関わりの多い様々な関係機関等と連携し取組を進めていきます。

成果指標

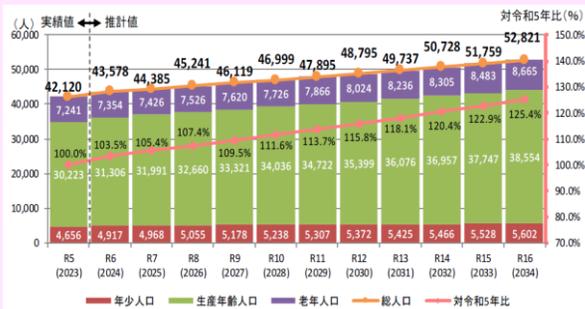
成果指標名	区分	前期の成果			計画目標値	
		当初	中間	達成状況	中間	最終
		令和元 (2019)年度	令和4 (2022)年度		令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度末
政策 1 「生活の面で困った時、近隣の友人や町会・自治会の人に相談できる」と回答した人の割合※1	目標	—	39%	未達成	29%	34%
	実績	34%	24%			
政策 1 「子育て支援の充実」が課題と考えている区民の割合※2	目標	—	62%	達成	57%	56%
	実績	64%	58%			
政策 1 「高齢者施策の充実」が課題と考えている区民の割合※2	目標	—	54%	達成	49%	48%
	実績	56%	50%			

出典：港区基本計画・芝地区版計画書に関する区民意識調査（令和5（2023）年1月）
 ※1 令和4（2022）年度時点で中間目標を達成できなかったため、計画目標値を下方修正しました。
 ※2 令和4（2022）年度実績を踏まえ、計画目標値を上方修正しました。

芝地区の現状

年少人口、老年人口の増加

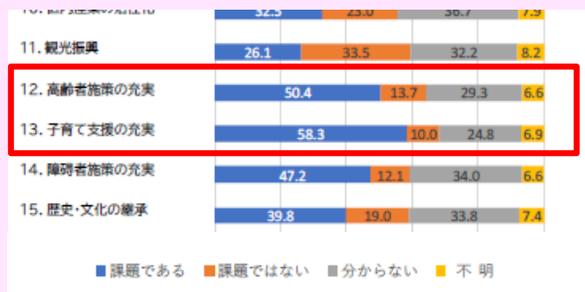
人口推計によると芝地区の将来人口は全ての年齢区分において増加すると想定されており、特に年少人口の増加が顕著です。



出典：港区人口推計（令和5（2023）年3月）

住民の意識

区民意識調査において、地域の課題として「高齢者施策の充実」、「子育て支援の充実」はともに高い関心が示されています。



出典：港区基本計画・芝地区版計画書に関する区民意識調査（令和5（2023）年1月）



政策体系

政策 1 地域の支え合いで健やかにいきいきと暮らせるまち「芝」

施策 (1) 子どもがのびのびと健やかに育つまちをつくる

- 主な取組 ①トレジャー☆スクール ～芝体験学習～ 
②子育て支援施設等の充実

施策 (2) いつまでもいきいきと健康的に暮らすことのできるまちをつくる

- 主な取組 ①地域で支え合う ～アロマネットワーク～ 
②高齢者が自分らしくいきいきと暮らせるための支援の充実

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和6年度から令和8年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  (芝次郎) が付いているものが地域事業です。

芝地区ならではの先進性・独自性

「トレジャー☆スクール ～芝体験学習～」では、区内の中で特にメーカーや研究機関等が高度に集積するという芝地区の優位性を活かし、専門性の高い講座を実施し、学習機会の拡充を図ります。学習テーマの拡充を図り、講座の実施回数を増やすことで、より多くの子どもたちに参加機会を広げます。

SDGsのゴールとの関係



施策
(1)

子どもがのびのびと健やかに育つまちをつくる

目標・期待する成果

地域の中で子どもを健やかに育み、見守ることが
できる環境づくりを推進します。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間（見込）	達成 状況	最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度		令和8 (2026)年度末
自然や環境についての理解が深まったと回答した人数 ^{※1}	目標	40人	110人	未達成	230人
	実績	0人 ^{※2}	97人		

※1 「芝・ネイチャー大学校」の参加者を対象としたアンケートの回答を集計
 ※2 新型コロナウイルスの影響のため、令和2年度の事業は休止しました。

現状と課題

- 芝地区では今後も未就学児を中心とする年少人口の増加が見込まれており、子どもの健やかな育ちを地域全体で支え、見守る環境づくりを推進することが重要です。
- 全国の自治体との連携を通じて、芝地区の子どもたちが都会では経験できない豊かな自然の中で、農作業をはじめとした様々な体験の機会を創出しています。また、区内企業との連携を図り、引き続き、様々な経験や交流を通じた子どもの健全な育成を支援することが求められています。



農作業体験（阿見町）



漁業体験（いわき市）



主な取組

① トレジャー☆スクール ～芝体験学習～

将来を担う子どもたちの健やかな育ちを支援するため、自然についての理解を深める体験学習を、茨城県阿見町・福島県いわき市との協働により実施し、港区では経験できない豊かな自然環境のもと、体験の機会を創出・提供することで、自然や環境への理解及び地域交流を深めます。また、区内事業者等と連携した講座を実施し、様々な学習機会の拡充を図ります。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
子どもの健やかな 育ちの支援	農作業体験の実施 漁業体験の実施 5回・40名	農作業・林業体験 の実施 漁業体験の実施 5回・40名	農作業・林業体験 の実施 漁業体験の実施 5回・40名	農作業・林業体験 の実施 漁業体験の実施 5回・40名	農作業・林業体験 の実施 漁業体験の実施 15回・120名
	事業者連携 学習会の実施 5回	事業者連携 学習会の実施 5回	事業者連携 学習会の実施 5回	事業者連携 学習会の実施 5回	事業者連携 学習会の実施 15回
事業費（千円）		5,150	5,150	5,150	15,450

② 子育て支援施設等の充実

幼児期から中高生に至るまで、子どもの健全な成長を見守り、アフターコロナの利用者のニーズに沿った施設運営や地域の子育て支援の充実を図ります。学童クラブにおいては、集団活動や異学年交流をとおして、子どもの社会性と自主性の発達を促します。

また、多様な働き方の保護者が増えている中、学童クラブの弾力的な運営や施設整備を進めます。

多世代の交流拠点である「芝の家」でのイベントなど、子どもに関わる施設等での取組を通じて、地域全体で子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。

関連計画等

※関連計画等の詳細は、計画名称の右の二次元コードからご確認いただけます。

- ・港区地域保健福祉計画（主な取組②）



施策
(2)

いつまでもいきいきと健康的に暮らすことのできるまちをつくる

目標・期待する成果

地域全体で支え合うことにより、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるまちをつくりまします。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	前期の成果				計画目標値
	区分	当初	中間(見込)	達成状況	最終
		令和2 (2020)年度	令和5 (2023)年度		令和8 (2026)年度末
セーフティネットワークの担い手になった人数※	目標	—	180人	達成	360人
	実績	—	180人		

※「地域で支え合う～アロマネットワーク～」の高齢者支え合い講座(新規講座)に参加した人数を集計

現状と課題

- 芝地区の老年人口は、団塊の世代の人たちも後期高齢世代に入り、今後ますます高齢化率が高くなるが見込まれています。また、ひとり暮らしの高齢者を含む高齢者のみの世帯も増加しています。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしくいきいきと暮らしていくために、行政サービス等の支援だけでなく、地域で高齢者を見守り、支え合う体制をつくる必要があります。
- 人生100年時代に向けて、高齢者自らが地域において担い手として活躍できるよう、活動の場や機会を提供していくことが必要です。

主な取組

① 地域で支え合う ～アロマネットワーク～

高齢者とその家族等が住み慣れた芝地区で自分らしくいきいきと暮らし続けるため、アロマセラピーを活用した地域高齢者支え合い講座を実施し、高齢者を地域で支えるセーフティネットワークを構築します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和5 (2023)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	計
地域で支え合う セーフティネット ワークの構築	地域高齢者 支え合い講座 4回・60名	地域高齢者 支え合い講座 3回・60名	地域高齢者 支え合い講座 3回・60名	地域高齢者 支え合い講座 3回・60名	地域高齢者 支え合い講座 9回・180名
事業費（千円）		700	700	700	2,100

② 高齢者が自分らしくいきいきと暮らせるための支援の充実

高齢者が地域で自分らしくいきいきと暮らせるよう、多様な講座を受講できる場、介護予防や健康づくりが行える場、コミュニティ活動の場として、いきいきプラザの充実を図ります。

また、多様化する生活様式に対応し高齢者が自立した生活を続けるために、介護予防に加え、自主的な活動の支援と多様な活動主体との協働による地域の活性化を推進します。

さらに、高齢者だけでなく多様な世代が参加できる事業を開催することで、地域における多世代交流の機会や、生涯をとおして学習する機会を創出します。

関連計画等

※関連計画等の詳細は、計画名称の右の二次元コードからご確認いただけます。

- ・港区高齢者保健福祉計画（主な取組②）



分野別計画からの再掲事業（芝地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、芝地区において実施する内容を掲載します。

放課後における児童の健全育成の推進 **重点課題6** [5-(15)-①] P.223

内容	増加する学童クラブ需要に応えるため、学童クラブの弾力的な運営や施設の改善を行うほか、新規開設による定員拡大等に取り組みます。安全・安心な放課後の居場所を確保し、児童の心身ともに健やかな育ちを支援するため、学童クラブ事業の質の向上を図ります。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	学童クラブ設置数 学童クラブ定員数 ^{※1}	目標 — 実績 36クラブ 3,309人	37クラブ 3,479人 36クラブ 3,480人	未達成	令和8(2026)年度末 37クラブ 3,643人
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~ 5(2023)年度	後期			計
	設置1クラブ 移行1クラブ	令和6(2024)年度 設置1クラブ (放課GO→学童クラ ブみた)	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度 定員増1クラブ (放課GO→学童クラブ あかばね ^{※2}) 移行1クラブ準備 (放課GO→学童クラ ブみた ^{※3})	設置1クラブ 定員増1クラブ
事業費	8,564千円	—	—	—	—

※1 学童クラブ定員数は、定員を拡大するため、計画目標値を上方修正します。

※2 放課GO→学童クラブあかばねの定員増に伴う事業費(整備費)は、「学校施設の充実」の項(P.352)に計上しています。

※3 放課GO→学童クラブみたの移行準備に伴う事業費(整備費)は、「学校施設の充実」の項(P.352)に計上しています。

学校施設の充実 重点課題6 [5-(16)-⑤] P.243

内容	学びのスタイルの変容が進む中で、より良い教育環境と安全・安心な教育施設を確保するため、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方にふさわしい校舎等を建設・増改築します。また、児童・生徒数の増加への対応や小学校全学年での35人学級の実現に向け、普通教室を計画的に増設します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成状況 令和8(2026)年度末
	学校及び教室の整備数(教室は改修数を加算)※	目標 —	小学校 19校 330教室 中学校 10校 69教室	達成 小学校 19校 343教室 中学校 10校 70教室	小学校 19校 352教室 中学校 10校 74教室
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	【幼稚園】 中之町幼稚園 完成(改築)				
	赤羽幼稚園 改築中	赤羽幼稚園			完成(改築)
	【小学校】 芝浜小学校 完成(建設)				
	赤羽小学校 完成(改築)				
	御田小学校 改築中	御田小学校			完成(改築)
	【中学校】 赤坂中学校 完成(改築)				
〈普通教室化改修〉 【小学校】 8校 24教室	御成門小学校 2教室 芝小学校 1教室 白金小学校 1教室 東町小学校 1教室	赤羽小学校 1教室	赤羽小学校 3教室	5校 9教室	
【中学校】 —	六本木中学校 1教室	六本木中学校 1教室	港南中学校 1教室 六本木中学校 1教室	2校 4教室	
事業費	29,665,256千円	1,125,621千円	1,940,508千円	5,293,540千円	8,359,669千円

※ 令和5(2023)年度における児童数・生徒数推計及び小学校の35人学級への対応を踏まえ、計画目標値について、小学校の教室数を332教室から352教室に上方修正するとともに、中学校の教室数を75教室から74教室に下方修正しました。

内容	国のGIGAスクール構想を踏まえ、児童・生徒に1人1台配備したタブレット端末を活用し、子どもたちの資質・能力を確実に育成する教育を推進します。 特に、デジタル教科書の利活用をはじめ、ICT機器を最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。				
	活動指標	指標名	前期の実績		
区分			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成状況
		児童・生徒用デジタル教科書の活用教科数※	目標	—	小学校2教科 中学校5教科
実績	—	小学校4教科 中学校4教科			
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	児童・生徒用デジタル教科書の活用 (小学校2教科・中学校5教科)	小学校4教科 (国・社・算・英) 中学校4教科 (国・社・数・英)	小学校4教科 (国・社・算・英) 中学校5教科 (国・社・数・英・理)	小学校4教科 (国・社・算・英) 中学校5教科 (国・社・数・英・理)	デジタル教書 小学校4教科 中学校5教科 配備
事業費	74,539千円	29,715千円	33,428千円	33,428千円	96,571千円

※ 小学校における活用教科数については、令和2(2020)年度に設定した2教科を上回り、4教科を達成する見込みのため、計画目標値を上方修正しました。

保育定員の適正な管理 重点課題6 [5-(17)-①] P.249

内容	区内保育施設の定員に空きが生じている状況を踏まえ、待機児童ゼロを継続しつつ、可能な限り保育施設の定員に対する空きを縮減できるよう、保育需要に見合った、保育定員の適正な管理に取り組みます。なお、認可保育園を補完する役割を担っている港区保育室については、周辺の保育施設の空き状況などを精査しながら、将来的な終了を視野に入れた定員設定を進めます。					
	活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
区分			当初	中間(見込)	達成状況	令和8(2026)年度末
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度			
区立認可保育園数		目標	—	22園	達成	22園
		実績	21園	22園		
私立認可保育園数		目標	—	66園	未達成	70園
		実績	56園	62園		
認定こども園数		目標	—	1園	達成	1園
		実績	1園	1園		
小規模保育事業所数		目標	—	12園	未達成	10園
	実績	12園	10園			
港区保育室数	目標	—	11園	達成	9園	
	実績	13園	10園			
認証保育所数	目標	—	19園	未達成	17園	
	実績	19園	17園			
保育定員	目標	—	9,763人	未達成	8,820人	
	実績	9,033人	8,664人			
年次計画(スケジュール)	前期(見込)	後期				
	令和3(2021)~5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計	
	私立認可設置8園 閉園2園	私立認可設置4園	私立認可設置2園	私立認可設置2園	私立認可設置8園	
	保育定員8,664人	保育定員8,532人	保育定員8,667人	保育定員8,820人	保育定員8,820人	
事業費	1,751,206千円	441,544千円	591,334千円	220,772千円	1,253,650千円	

※ 計画目標値については、小学校就学前の子どもの人口減に伴う保育需要の減少に合わせ、既存の認可保育園等に空きが出ないことを考慮した施設数及び保育定員に変更しました。

内容	高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けるためには、在宅で生活するための支援が必要です。高齢者の様態や希望に応じて「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせた介護サービスを提供するため、民設民営により小規模多機能型居宅介護施設を整備します。				
活動指標	指標名	区分	前期の実績		計画目標値
			当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成状況 令和8(2026)年度末
	小規模多機能型居宅介護施設数及び定員 ^{※1}	目標 — 実績 5施設 (定員128人)	7施設 (定員186人) 5施設 (定員133人)	未達成	8施設 (定員220人)
年次計画(スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)~5(2023)年度	後期			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	計
	南青山二丁目 ^{※2} (定員29人) 建設中	南青山二丁目 (定員29人)			完成
	芝浦四丁目 ^{※3} (定員29人) 建設中	芝浦四丁目 (定員29人)			完成
	三田一丁目 ^{※4} (定員29人) 建設中	三田一丁目 (定員29人)			完成
	東麻布二丁目 (定員29人) 設計中	東麻布二丁目 (定員29人)			建設中 (令和9年度完成予定)
事業費	55,285千円	925,644千円	—	—	925,644千円

- ※1 東麻布二丁目のスケジュール変更により、竣工が令和9年度となったため、計画目標値を下方修正しました。
- ※2 南青山二丁目施設整備の事業費は、「地域移行や『親なき後』を見据えた住環境の整備」の項(P.380)に計上しています。
- ※3 芝浦四丁目施設(シティハイツ高浜)整備の事業費は、「区民向け住宅の供給及び有効活用」の項(P.362)に計上しています。
- ※4 三田一丁目施設(赤羽幼稚園・小学校施設内)整備の事業費は、「学校施設の充実」の項(P.375)に計上しています。

概要

各総合支所では、地域特性や区民のニーズを区政に反映し、地域の課題を地域で解決する仕組みとして区民参画が進められています。区民と区が地域情報や区政情報を共有し、地域課題や区の計画をともに考え、取り組みます。

主な取組

① 参画と協働の推進

区がこれまで重点的に進めてきた「参画と協働」の取組をさらに加速させ、区民、事業者、大学、NPO、大使館など多様な主体とともに地域の課題を解決する仕組みの充実を図ることにより、芝地区に住み、働き、学ぶ全ての人の豊かさの向上をめざします。

◆地域住民・団体等との協働

行政だけでは解決が困難な諸課題に対して、地域の力を結集して解決を図っていくため、町会・自治会、商店会、大学、NPO、大使館、芝地区の区民参画組織「芝会議」のメンバー、地域事業を総合支所とともに運営している区民等との信頼関係をさらに深めます。



地域防災協議会との協働による避難所運営訓練



芝地区区民参画組織「芝会議」

◆企業との協働

区内で最も事業所が多い芝地区の特性を最大限活用し、防災や生活安全、環境美化をはじめ、地域の魅力を創出し、高める取組の充実を図るため、企業との連携・協働を一層強化します。



芝地区クリーンキャンペーン（本芝公園）



滞留者対策協議会訓練（浜松町駅）

◆全国の各自治体との連携

子どもの自然体験学習などを通じて絆を深めてきた阿見町をはじめ、いわき市、置賜地域、島しょ地域との連携をさらに発展させ、相互の地域活性化や住民の豊かさの向上をめざし、ともに考え、支え合う関係を構築します。

◆地域の魅力を高める人材の育成

総合支所の職員として積極的に地域に飛び出し、地域の声を汲み取り、地域の課題について区民や事業者等とともに考え、解決に向けて行動する人材の育成を推進します。

② 効果的な情報発信

区民等が気軽に港区や芝地区に関する情報を収集できるよう、広報みなとや区ホームページ、芝地区地域情報誌、ケーブルテレビ、掲示板などの広報媒体に加え、芝地区総合支所公式SNSやデジタルサイネージなどの多様な情報媒体を活用し、より効率的かつ効果的に情報を発信します。

③ アフターコロナに向けた事業運営

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン会議の開催が増え、オンラインを活用した事業の実施など、事業の性質に応じて、開催及び運営の方法を検討します。



十分な距離を確保した会議運営
(芝会議 まちの魅力発掘部会)



山形県置賜地域とのオンライン研修会

関連計画等

※関連計画等の詳細は、計画名称の右の二次元コードからご確認いただけます。

- ・港区DX推進計画（主な取組②）



分野別計画からの再掲事業（芝地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、芝地区において実施する内容を掲載します。

いつでもどこでも手続きができる環境の整備 重点課題7 [(24)-①] P.325

内容	来庁しなくても、いつでもどこでも、分かりやすくオンライン上で必要な申請や相談等ができる環境を整備します。				
活動指標	指標名	前期の実績			計画目標値
		区分	当初 令和2(2020)年度	中間(見込) 令和5(2023)年度	達成 状況
	行政手続全体に占めるオンライン申請が可能な手続の割合	目標	—	75 %	未達成 100 %
実績	4 %	50 %			
年次計画 (スケジュール)	前期(見込) 令和3(2021)～ 5(2023)年度	後期			計
	75%	令和6(2024)年度 80%	令和7(2025)年度 90%	令和8(2026)年度 100%	
事業費	16,236千円	3,383千円	—	—	3,383千円

參考資料

1 芝地区版計画書 改定経過

(1)「芝会議 地区版計画推進部会」による検討経過

芝地区版計画書の改定に向けて、区民参画組織「芝会議 地区版計画推進部会」において、芝地区の現状や課題、解決策等について議論を行い、その結果を「港区基本計画・芝地区版計画書改定に向けた提言書」としてとりまとめ、令和5(2023)年3月に区長に提出しました。

令和5(2023)年度は、区から芝地区版計画書の改定経過や提言の反映状況等について報告を行いました。

●令和4(2022)年度

	開催日	概要
第1回	令和4年 4月20日(水)	○芝地区版計画書の概要 ○年間スケジュール ○自己紹介
第2回	令和4年 5月20日(金)	○部会で検討する内容・進め方の説明 ○地域事業の課題整理・改善点の検討 -No.1 「芝地区防災力向上プロジェクト」
第3回	令和4年 6月15日(水)	○港区立御成門小学校の取組(ヒルズ街育プロジェクト)の紹介 ○地域事業の課題整理・改善点の検討 -No.5 「芝 BeeBee's プロジェクト」 -No.8 「Arc Island 竹芝」
第4回	令和4年 7月13日(水)	○地域事業の課題整理・改善点の検討 -No.6 「芝 de Meet The Art ～アートに親しむまち、芝～」 -No.10 「地域で支え合う ～アロマネットワーク～」
第5回	令和4年 8月3日(水)	○地域事業の課題整理・改善点の検討 -No.3 「ご近所イノベーション学校 ～芝に幸せをよぶ人づくり～」 -No.4 「地域をつなぐ!交流の場づくりプロジェクト」
第6回	令和4年 8月31日(水)	○地域事業の課題整理・改善点の検討 -No.7 「芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ「芝」～」 -No.2 「エコ芝 教室」 -No.9 「芝・ネイチャー大学校」
第7回	令和4年 10月5日(水)	○地域事業の提言の検討 -No.1 「芝地区防災力向上プロジェクト」 -No.5 「芝 BeeBee's プロジェクト」
第8回	令和4年 11月2日(水)	○地域事業の提言の検討 -No.8 「Arc Island 竹芝」 -No.6 「芝 de Meet The Art ～アートに親しむまち、芝～」 -No.10 「地域で支え合う ～アロマネットワーク～」
第9回	令和4年 11月30日(水)	○地域事業の提言の検討 -No.3 「ご近所イノベーション学校 ～芝に幸せをよぶ人づくり～」 -No.4 「地域をつなぐ!交流の場づくりプロジェクト」 -No.7 「芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ「芝」～」
第10回	令和4年 12月21日(水)	○地域事業の提言の検討 -No.2 「エコ芝 教室」 -No.9 「芝・ネイチャー大学校」

	開催日	概要
第11回	令和5年 1月25日(水)	○提言書案の確認
第12回	令和5年 2月15日(水)	○提言書の確定
提言式	令和5年 3月28日(火)	○区民参画組織提言式

●令和5(2023)年度

	開催日	概要
第1回	令和5年 11月16日(木)	○芝地区版計画書(素案)の報告

(2) 芝地区版計画書 庁内検討経過(芝地区版計画書策定委員会)

芝地区版計画書の策定にあたり、総合支所内の総合的な調整を図るために設置しました。

	開催日	概要
第1回	令和5年 4月27日(木)	○計画計上事業の見直しについて ○事業立案に係る提言について ○次期地域事業の立案について
第2回	令和5年 8月17日(木)	○芝地区版計画書策定スケジュールについて ○次期計画体系案について
第3回	令和5年 9月5日(火)	○芝地区版計画書(素案原案)の確認について

(3) 芝地区版計画書に関する区民意識調査

●調査対象	港区芝地区内に住民登録する 満18歳以上の男女	●調査方法	郵送配布、郵送・WEB回答
●調査対象数	1,500 標本	●調査期間	令和5年1月11日(水)～1月31日(火)
●対象の抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出	●回収数	379件
		●回収率	25.3%
●調査項目	1. 回答者の属性について 年齢、国籍、職業、居住地、家族構成、居住形態、居住年数等 2. 芝地区の事業について 地域事業の認知度、満足度、重要度、参加意向等 3. 芝地区の暮らしについて 防災、ご近所づきあい、地域コミュニティ、地域課題等		
		 芝地区版計画書に関する 区民意識調査報告	

(4) 区民説明会及び区民意見募集

①説明会の日時・場所

	日時	場所
第1回	令和5年11月19日(日) 午後2時30分～4時	芝コミュニティはうす
第2回	令和5年11月22日(水) 午後7時～8時30分	区役所912会議室

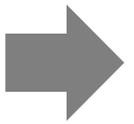
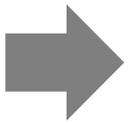
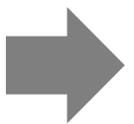
②区民意見募集期間(パブリックコメント)

令和5(2023)年11月11日(土)～12月11日(月)

2 港区基本計画・芝地区版計画書改定に向けた提言

港区基本計画・芝地区版計画書は、芝地区区民参画組織・芝会議「地区版計画推進部会」からの提言を最大限反映して改定しました。

通番	地域事業名	提言	提言の内容
1	芝地区防災力向上プロジェクト	防災住民組織と事業者が相互理解を深め、災害時に協力できる体制の構築	災害時に備えて、地域全体の防災力を高めておくことが必要なため、防災住民組織と事業者が相互の役割を理解し、協力できる体制を構築する。 (例) ・事業者のマニュアルに地域との関わり方を明記するよう促す。 ・現行の事業者向けセミナーでは、災害時の地域での連携の必要性を伝える。 ・町会に未加入のマンション管理組合等関係者に災害時行動マニュアルに相当する計画の作成を支援するセミナーを開催する。 ・災害対策に先進的に取り組む地域組織（マンション）と未実施の地域組織（マンション）の交流を図り防災の取組の手法を共有する。
2	エコ芝 教室	より多くの人々がエコを学べる機会をつくる	ごみを減量し、具体的な行動につなげるために、様々なエコに関する取組を通して多くの人々が学べる機会を創出する。 (例) ・区内の既存施設（エコプラザ、プラザ神明の屋上緑化など）を見学する。 ・大使館へ依頼し、世界の環境保全状況や事業者の取組を学ぶ。 ・人口データのように日常的に見られるデータを指標にする。 ・目標の達成状況は港区らしさを活用して、回収したごみの量を東京タワーなどで表現する。
3		地域に密着した活動の実施	ごみを減らすためにできる具体的な行動を参加者で企画し、活動を実行する。 (例) ・参加者が身近でできることを取り上げ、SNS等で発信する。 ・子どもたちと一緒にプラスチックを使わない方法を考える。 ・ごみの種類別に指定のごみ袋を導入する。 ・地域のごみ拾い活動をとおして、参加者へ啓発を行う。 ・芝地区地域情報誌やSNSで発信するとともに、ターゲットを絞って呼びかけるなど人の力も使って周知する。 ・エコライフみなど（有栖川宮記念公園）、廃油や園芸土の回収など、地元で密着したイベントに参加する。





提言の反映内容

・セミナー実施にあたり、BCP（事業継続計画）策定・見直しだけでなく帰宅困難者対策等、他の防災対策についてもプログラムに盛り込み、地域と事業者との連携の必要性、重要性を理解できる内容に見直すことで、事業者による災害対策をこれまで以上に充実させ、広く芝地区の防災力向上につなげていきます。

・事業者向けセミナーで地域団体の活動を紹介し、住民組織主体の防災訓練への参加を促すなど、地域と事業者がつながるきっかけを作り、自助・共助による協力体制を構築します。

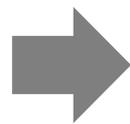
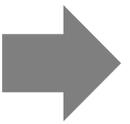
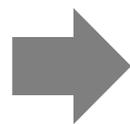
・リサイクルに積極的に取り組んでいる事業者や、みなとりサイクル清掃事務所などへの見学会を新規開催し、エコを学ぶ機会を拡充します。

・環境問題について広く考え、地域に密着した活動を実施できるよう、クリーンキャンペーンと連携した活動を展開します。

・地域事業で独自のごみ袋を啓発用に作成し、配布活動を展開するなど、子どもから高齢者まで、誰でも簡単に始められる脱プラスチック生活の学習をとおして、芝地区のエコ意識を高めます。

・啓発内容を芝地区総合支所のSNSで発信することで清掃活動への参加者の増加につなげ、区民のエコ意識を高めます。

通番	地域事業名	提言	提言の内容
4	ご近所イノベーション学校 ～芝に幸せをよぶ人づくり～	多方面との接点を増やす取組の実施	「ご近所イノベータ養成講座」の修了生によって地域コミュニティが活発化されるよう、芝地区内の様々な主体（町会、学校、NPO、事業者等）との接点を増やす取組を行う。 （例） ・ご近所イノベータ養成講座の情報（パンフレット等）を町会の若手や学校、事業者等に届け、情報交換の仕組みづくりを構築する。 ・講座の講師を町会長に依頼したり、町会向けの講座内容を作成する。
5		講座や修了生の活動の場・機会をつくるための内容の公開	「ご近所イノベータ養成講座」の内容や修了生の活動を多くの人に知ってもらい、地域での活動が継続できるよう、講座の内容や活動実績を取りまとめて公開する。 （例） ・シンポジウムの受講生によるプロジェクト発表を動画配信する。 ・講座の内容を具体的に表現したり、修了生の取組（月1回の情報交換会の様子や活動内容、活動場所、時間等）をSNS等で紹介する。
6	地域をつなぐ！ 交流の場づくりプロジェクト	来訪者層のニーズに合わせた活動の展開	地域に開けた空間として子どもから高齢者まで世代を問わず気軽に立ち寄り交流できるよう、来訪者層のニーズに合わせた活動を行う。 （例） ・ご近所ラボ新橋ではサラリーマンが興味を持つイベントを開催したり、その日にどんな活動があるのかPRする。 ・コーヒーの日や一見さんの日、掃除をする日など初めての人が訪れやすい開室テーマをつくるように働きかける。 ・来訪者がどんな使い方ができるかイメージしやすくなるようなPRをする。
7		より利用しやすい場づくりの推進	地域交流拠点として誰もが気軽に立ち寄れるよう、開室時間とスタッフ配置などを含め、利用しやすい空間づくりをする。 （例） ・活動のボランティアを募り、朝と夜間の開室時間の拡大、稼働日数、スタッフ配置状況を改善する。 ・ご近所ラボ新橋のキッチンや建物の屋上などを活かした活動を展開する。 ・地域の活動を取り込んで、人々のつながりをつくる。 ・芝地区が実施している他の地域事業との協力・連携を図る。





提言の反映内容

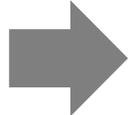
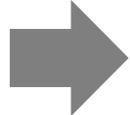
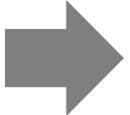
- ・町会等の地域団体とも連携し、多方面との接点を増やします。
- ・講座の講師を町会長に依頼するなど、地域の声を取り入れ芝地区を意識させる講座内容の充実を図ります。
- ・町会役員会などで講座の情報共有を進め、町会員へ情報発信してもらうなど、接点を増やし、地域の人財であるイノベータの認知度を高める取組を進めます。

- ・地域交流拠点である「芝の家」「ご近所ラボ新橋」で実施している修了生の活動内容を芝地区公式SNSや地域情報誌「しばタグ」などで広く紹介します。
- ・他の地域事業を実施している区民参画組織に活動内容を紹介し、接点を増やすとともに、修了生の活動の場・機会の創出を進めます。

- ・これまでのイベントは継続しつつ、初めての方でも訪れやすい新たなイベント内容の企画・検討を進めるとともに、様々な来訪者に合わせて、より利用したくなるようなテーマでイベント等を実施します。
- ・利用者とのコミュニケーションを図り、ニーズや交流の場に求められている要望の聞き取りを進めます。
- ・オンラインイベント等、デジタルツールの有効活用により、利用しやすい場づくりを進めます。

- ・施設の利用者案内用に作成している開室カレンダーの記載内容を検討します。芝の家、ご近所ラボ新橋の2施設で実施しているイベント内容が分かりやすいようにレイアウトを工夫することで、気軽に立ち寄れる環境を構築し施設利用者の増加を図ります。
- ・幅広い世代の方たちにご利用いただけるよう、開室時間を毎回同じ時間ではなく、午後～夕方、夕方～夜といった多様な時間帯に設定することや、早朝や夜間のオンライン開室を増やすなど、より利用しやすい交流の場の運営を進めます。
- ・芝地区総合支所のSNSを活用し、運営内容の周知を図るとともに、掲示板等を利用するなど、より多くの方に知っていただく取組を検討します。

通番	地域事業名	提言	提言の内容
8	芝 BeeBee's プロジェクト	多世代交流のさらなる推進	<p>より多くの人に関わってもらうためには、関わり方の多様化を図りながら、ミツバチの飼育をとおして多世代交流を推進する。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校などへ芝 BeeBee's の活動を紹介し、子どもの参加を増やす。 ・色々な人が関われるよう、養蜂活動以外にも緑化活動や自然学習などの取組も導入し、芝 BeeBee's のメンバーを増やす。
9		活動の話題性を高める取組の実施	<p>芝地区の新たな魅力であるしばみつ®を用いてより多くの人に活動を知ってもらえるよう、話題性を高める取組を実施する。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の商店と連携してしばみつ®を活用したフェアを開催する。 ・活動の良さが伝わるようなストーリーをつくり、しばみつ®を販売する。 ・地区内外のより多くの人に活動を知ってもらう機会を増やすため、他区が実施する養蜂事業との交流を図る。 ・ミツバチの好む植物の種を配布して緑や花を増やす活動につなげる。 ・SNS等を活用し、芝 BeeBee's のメンバーによるレシピの共有、しばみつ®の活用例等の情報発信を進める。
10	多様性を学ぶまち～SHIBA～	地域への愛着を深め、多様な区民が参加する取組の再検討	<p>地域への愛着を醸成できるよう、多様な区民が参加できる取組手法を再検討する。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の手法による事業スキームを再検討する。 ・地域資源を活用し、愛着を深めるため、より効果的な取組を検討する。 ・絵の掲示以外でも多様な区民が参加できる取組の手法を検討する。 ・港区、芝地区らしい取組を企画し、実施する。 ・芝地区の多様な主体（事業者、NPO等）と連携する。





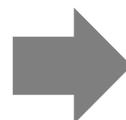
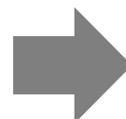
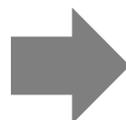
提言の反映内容

- ・地域の学校や学童クラブへ芝 BeeBee's の日頃の活動を積極的に周知し、活動への興味を引き出すことで、より多くの人に参加を促します。
- ・メンバー主体の出張講座の実施など、養蜂活動を通じた地域コミュニティの形成を進めます。

- ・販売会など多くの区民と接する機会をとらえ、年間の活動内容や、副産物として採取したはちみつ「しばみつ®」の魅力幅広く周知するとともに、事業の目的である多世代交流の推進について理解を深め、参加者増加につなげることで交流機会を創出します。
- ・連携している学校・事業者と採取したはちみつ「しばみつ®」を活用した商品開発を進め、名産品として販売することで事業の認知度向上を図り、芝地区の新たな魅力を創出します。

- ・官民連携を強化し、竹芝エリアの水辺の地域資源を生かして生物多様性を学ぶ機会を提供するほか、障害者週間記念事業で表彰された作品を芝地区管内の地上配電機器（屋外トランスボックス）に設置することで、多様な“国籍の人、働く人、学ぶ人、住む人”が相互に理解を深め支え合い共存していくことのできる心豊かな地域づくりを推進し、地域への愛着と多様性への理解を深めます。
- ・事業内容の拡充を踏まえて、事業名を「多様性を学ぶまち ～SHIBA～」に変更します。

通番	地域事業名	提言	提言の内容
11	芝 歴史・文化・交流アカデミー ～歩く・見る・学ぶ 「芝」～	多様な人々のニーズに合わせたコースをつくる	区の事業としてとり多くの人に芝地区の魅力を伝えるため、障害のある方や外国人など多様な人々を受け入れ、様々なまち歩きのリクエストに応えられるよう、ニーズに合わせたコースを設計する。 (例) ・障害のある方の参加を支援するサポーターを養成する。 ・バリアフリーを考慮したコースを設計する。 ・外国人や障害のある方向けのコンテンツを作成する。 ・オータメイドや距離別・時間別のまち歩きなどバリエーションに富んだコースを設計する。
12		知識を継承するための手法づくり	語り部養成講座では各々が資料や情報収集を行うことで語り部としての質を高めている。より継承できる手法を構築するため、語り部の質が次世代へ継承できるような手法を検討する。 (例) ・語り部養成講座において受講生に資料収集の手法を教える。 ・貴重な資料や地図、誰かが知っている情報を共有できるシステムをつくる。
13		部会の活動をより多くの人に発信できる手法の導入	より多くの人に「まちの魅力発掘部会」の活動や芝地区の魅力が伝わるよう、誰でも気軽に参加しやすい手法を取り入れる。 (例) ・語り部養成講座申込みはインターネット等を活用して募集する。 ・SNS等を活用して語り部養成講座の内容を公開する。 ・若い世代の参画を促し、まち歩きコース紹介のシステム化を図る。



提言の反映内容

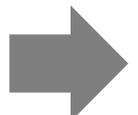
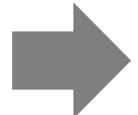
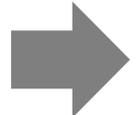
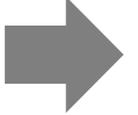
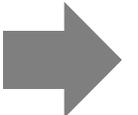
・長時間のまち歩きが難しい方、障害のある方などにも芝地区の歴史や文化、自然等を広く知ってもらえるよう、「芝の語り部」による室内まち歩きツアー体験等、実際のまちを歩くツアーとは異なる多彩なコースづくりを進めます。

・「芝の語り部養成講座」により、これまでに培った資料収集の方法など、語り部に必要な知識を継承し、次世代の人材を育成します。

・「芝の語り部」によるまち歩きツアーの様子を撮影し、まち歩き動画を作成します。動画を活用することで、実際に参加できない方でもツアーの疑似体験をできるようにします。

・作成した動画により、芝の魅力を発信しつつ、次世代へ知識や手法を継承するツールとしても活用します。

通番	地域事業名	提言	提言の内容
14	竹芝プロジェクト ～ともにつながる未来へ～	島しょ部の魅力を活かした竹芝のまちづくり	芝地区の新しい魅力として活気にあふれる竹芝エリアとなるよう、事業の目的は島しょ部の魅力を活かした竹芝のまちづくりとする。 (例) ・島しょ自治体と連携・協働による港区の事業であるため、区民まつりやいろいろな機会を活用し、島しょ部と竹芝を紐づけて、理解を深めてもらうことに注力する。
15		人々が竹芝を訪れたくなるようなきっかけづくり	芝地区の新たな魅力である竹芝を訪れる人が増え、活気あふれる地域となるよう、来訪のきっかけにつながる手法を考える。 (例) ・浜松町と竹芝をつなぐポートデッキの愛称を募る。 ・ウォーキングの目的地として竹芝エリアまでの散歩コースをつくる。 ・VR映像を使って島しょ体験ができるイベントを実施する。
16	トレジャー☆スクール ～芝体験学習～	対象者や参加要件のあり方の見直し	限られた予算の中で、より多くの子どもが港区では経験できない体験学習に触れられるよう、適正な事業の対象者や参加要件のあり方について検討する。 (例) ・子どもだけの参加を可能とする引率方法を検討する。 ・ひとり親家庭などの参加を優先する。 ・オンラインを活用して体験とその様子を中継するハイブリッド型を取り入れる。
17		理解を深めるプログラムの策定	自然や環境への理解及び地域交流をより一層深めるため、現行のプログラムを改善する。 (例) ・事前に参加者を集めて予習したり、農業体験後に得られた成果を発表する機会を設ける。 ・事前に参加者がプランを企画し、プランに沿った体験を実施する。 ・交流自治体の子どもや農家、漁師などと定期的な情報交換を行い、交流を深める。 ・事業内容に合わせた相応しい名称を再検討する。
18		芝地区における社会見学の拡充	子どもたちの学びの幅を広げるため、芝地区内事業者との連携を拡充させる。 (例) ・連携先の区内事業者を増やし、テーマによって子どもたちが選択できるようにする。 ・食育として調理実習できる学校や事業者等と連携する。 ・農林水産業に関連する体験ができる学校や事業者等と連携する。 ・座学と実習の場を提供してくれる学校や事業者等と連携する。





提言の反映内容

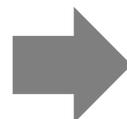
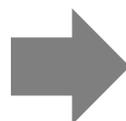
- ・竹芝 MGM 協議会などのまちづくりに関わる多様な主体と区民参画組織の連携・協働を深め、地域イベントの実施など区民が竹芝を身近に体感できる取組等の企画を推進し、魅力と活気にあふれる地域づくりを進めます。
- ・事業内容の拡充を踏まえて、事業名を「竹芝プロジェクト ～ともしつなげる未来へ～」に変更します。

- ・オンラインを活用した取り組みを進め、島しょ地域との交流を図るなど、様々な視点から竹芝エリアのにぎわいの創出につながる活動を拡充します。
- ・芝地区総合支所公式 SNS や竹芝 MGM 協議会などのまちづくりにかかわる事業者から、イベント情報を積極的に発信し竹芝エリアをさらに PR します。
- ・新たにつくられたまちの隠れた魅力を発信し、島しょへの玄関口である竹芝エリアへの興味を深めることで、これまで竹芝エリアに足を運んだことがない方たちに、訪れたいくなるようなきっかけをつくります。

- ・現在実施している体験学習については、現地での様子を撮影した動画を活用し現地の自然を体験する取組の検討を進めるなど、より多くの子どもたちが連携自治体とつながる手法を検討していきます。
- ・児童館など区内施設との連携を推進し、施設内での様々な体験学習を企画、実施するなど、子どもたちだけで参加が可能な方法を検討していきます。

- ・区内事業者等との新たな連携・協働により、従来の農業・漁業体験に加えて幅広い分野での体験学習の機会を提供します。
- ・体験学習後は、参加者に実際の体験学習から得たものを作品（感想文、日記など）として提出してもらい、連携先に成果として伝え次年度以降の事業内容に反映していくほか、作品の内容や連携先からの振り返りを参加者間で共有することで、さらなる地域交流への気持ちを深めていきます。
- ・学習テーマを拡充し、講座回数を増やすことで、より多くの子どもたちに参加機会を提供し、芝地区で社会を学ぶ機運を醸成します。
- ・事業内容の拡充を踏まえて、事業名を「トレジャー☆スクール ～芝体験学習～」に変更します。

通番	地域事業名	提言	提言の内容
19	地域で支え合う ～アロマネットワーク～	地域高齢者支え合い講座の対象の拡大	<p>高齢者を地域で支えるネットワークが構築できるよう、講座の対象者を幅広くし、地域全体で見守る体制を強化する。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアごとに範囲を設定して講座を実施する。 ・マンションの共用スペースを活用して講座を実施する。 ・受講対象者の間口を広げ、町会・自治会等に参加を呼びかける。
20		アロマを活用した多様な取組の実施	<p>誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、アロマを活用してコロナ禍でも継続できるような様々な取組を実施する。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドマッサージ以外の活動も展開する。 ・アロマオイルを抽出できる花や緑を育てる園芸療法などの他の事業と連携する。 ・オレンジカフェやお祭り等の地域イベントで取組を周知する。





提言の反映内容

- ・ 講座対象者は「港区民の 50 歳以上」という制限をなくし、対象者の幅を広げます。
- ・ アロマに興味を持つ方や日常的にアロマを使用する若い世代を巻き込むほか、日頃から高齢者と関わりの多い様々な関係機関等と連携して、新たな講座参加者の拡大を図ります。
- ・ 今回より「在勤者」の方も講座対象者に広げたことから、芝地区の取組をより一層知っていただく為、公式 X (旧 Twitter) や Instagram など様々な情報媒体を活用し積極的に周知していきます。また、本講座をとおして新たな人と人とのつながりを促進していきます。

3 関連計画等一覧

政策分野	分類	名称等	内容
かがやくまち	街づくり	港区まちづくりマスタープラン 計画期間 平成 29 年度～令和 18 年度	都市計画に関する基本的な方針を示す港区の街づくり分野の最上位の計画です。港区における今後のまちづくりの“道しるべ”となり、区民、企業等、行政がまちの将来像を共有するためのよりどころとなるものです。
		港区交通安全計画 計画期間 令和 3 年度～令和 7 年度	交通事故等交通災害から区民の生命を守り、安全で快適な暮らしを確保するため、交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画です。
		港区総合交通計画 計画期間 令和 5 年度～令和 14 年度	持続可能な交通手段を確保するための地域交通に関する新たな方針を示すとともに、地域交通、新たなモビリティ MaaS 等の新たな取組を推進していくための交通に関する総合的な計画です。
		港区自転車交通環境整備計画 計画期間 令和 4 年度～令和 13 年度	自転車等駐車場の整備や自転車シェアリングの推進、自転車活用の推進、自転車通行空間の整備の推進などを目指した、自転車に関する総合的な計画です。
		港区バリアフリー基本構想 計画期間 令和 3 年度～令和 12 年度	高齢者、障害者等誰もが安全に安心して快適に移動できるバリアフリー空間の計画的な整備を進めていく方針として、策定している基本構想です。
		港区緑と水の総合計画 計画期間 令和 3 年度～令和 12 年度	緑地の保全及び緑化の目標・施策、都市公園の整備及び管理の方針等、さらには水循環系も含めた、港区の緑とオープンスペース、水に関する総合的な計画です。

政策分野	分類	名称等	内容
かがやくまち	環境・リサイクル	港区環境基本計画 計画期間 令和3年度～令和8年度	環境分野に関する取組の基本的な方向性を示す計画であり、「港区地球温暖化対策地域推進計画」、「港区環境率先実行計画」、「港区生物多様性地域戦略」、「港区気候変動適応計画」、「港区環境教育等行動計画」を包含しています。
	防災・危機管理	港区地域防災計画 計画期間：－	区及び地域における防災関係機関がその全機能を有効に発揮して、その所掌に係る震災予防・震災応急対策及び震災復興を計画的に実施することにより、区民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とした計画です。
		港区生活安全行動計画 計画期間 令和6年度～令和8年度	防犯、防火などの生活安全の観点から区を取り巻く課題を示し、今後の方向性と取組を具体的に明らかにするアクションプランです。

政策分野	分類	名称等	内容
にぎわうまち	産業・地域振興	港区観光振興プラン 計画期間 令和6年度～令和8年度	都市観光のあり方、観光事業の体系的整理、推進体制及び経済効果等を検討し、観光振興による商店街や中小企業、商業及び産業の活性化をめざす基本的な方向性を示す計画です。
はぐくむまち	保健・福祉	港区地域保健福祉計画 計画期間 令和3年度～令和8年度 ※港区高齢者保健福祉計画を包含しています。	地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童福祉その他の福祉の各分野の共通的な事項や、健康づくり・保健に関する事項等の地域保健福祉施策を総合的に定めた計画です。港区高齢者保健福祉計画、港区障害者計画等、関係する計画を一体的に改定・策定しました。
実現をめざして	デジタル化	港区DX推進計画 計画期間： 令和3年度～令和8年度	区民生活に関わるICT環境の変化に的確に対応するとともに、港区基本計画で示された目標の実現に向けて、情報化の視点から施策の方向性を示す計画です。

※関連計画等の詳細は右の二次元コードからご確認いただけます。



港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいにあふれたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

区 の 木



ハナミズキ

区 の 花



アジサイ



バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

港区基本計画 芝地区版計画書（素案）

令和5（2023）年10月発行

発行・編集：港区芝地区総合支所協働推進課

港区芝公園一丁目5番25号

TEL 03-3578-3111（代表）

FAX 03-3578-3180

<https://www.city.minato.tokyo.jp>

